

**コマツ**  
**2015年度第3四半期(4月-12月)**  
**決算説明会**  
**【電話会議】**

**2016年1月29日**

**コマツ出席者**

<b>取締役(兼)専務執行役員CFO</b>	<b>藤塚 主夫</b>
<b>常務執行役員経営管理部長</b>	<b>稲垣 泰弘</b>

## I. 2015年度 第3四半期(4月-12月)決算の概要 <P3-P10>

- P4 : 2015年度第3四半期(4月-12月)の概況
- P5 : 2015年度第3四半期(4月-12月)の各セグメント売上高と利益
- P6-7 : <建設機械・車両> 2015年度第3四半期(4月-12月)の状況
- P8 : <産機事業他> 2015年度第3四半期(4月-12月)の状況
- P9 : リテールファイナンスの状況
- P10 : 連結貸借対照表

## II. <建設・鉱山機械> 需要推移と見通し <P11-P17>

- P12-17 : <建設・鉱山機械> 主要7建機需要推移と見通し(全体及び地域別)

## III. <建設・鉱山機械> 鉱山機械と部品の状況、他 <P18-P23>

- P19-20 : <建設・鉱山機械> 鉱山機械の状況
- P21 : <建設・鉱山機械> 部品の売上高
- P22 : ニュース

## 参考資料 <P24-P33>

- P25-28 : 四半期毎の状況
- P29-30 : BBLレシオ[受注/売上指数(6ヶ月)]
- P31-33 : 2015年度第3四半期(10月-12月)の状況

## **I . 2015年度 第3四半期(4月-12月)決算の概要**

**【売上・損益】**

- ・連結売上高は前年同期比▲4.6%減収の1兆3,705億円。
- ・営業利益は前年同期比▲15.0%減益の1,546億円。売上高営業利益率は同▲1.4ポイント減11.3%。
- ・純利益は前年同期比▲11.0%減益の1,037億円。

金額単位:億円	2014年4-12月 ¥106.5/USD ¥140.5/EUR ¥17.2/RMB	2015年4-12月 ¥121.7/USD ¥133.8/EUR ¥19.4/RMB	前年同期比	
			増減	増減率
連結売上高	14,366	13,705	▲661	▲4.6%
セグメント利益	1,811	1,469	▲342	▲18.9%
その他の営業収益(▲費用)	7	76	+69	-
営業利益	1,818	1,546	▲272	▲15.0%
売上高営業利益率	12.7%	11.3%	▲1.4ポイント	-
その他の収益(▲費用)	▲16	▲15	+1	-
税引前純利益	1,802	1,531	▲270	▲15.0%
純利益*	1,165	1,037	▲127	▲11.0%

\*米国財務会計基準審議会会計基準編纂書810の適用による「当社株主に帰属する四半期純利益」

- ・建設機械・車両部門の売上高は、▲5.1%減収の1兆2,196億円。セグメント利益は▲20.3%減益の1,369億円。セグメント利益率も▲2.2ポイント悪化し、11.2%。
- ・産業機械他部門の売上高は、▲0.9%減収の1,544億円。セグメント利益は+2.9%増益の119億円。

□ : 利益率      ( ) : 外部顧客向け売上高

金額単位:億円	2014年4-12月		2015年4-12月		前年同期比	
					増減	増減率
売上高	14,366		13,705		▲661	▲4.6%
建設機械・車両	(12,844)	12,856	(12,176)	12,196	(▲667) ▲660	(▲5.2%) ▲5.1%
産業機械他	(1,522)	1,559	(1,528)	1,544	(+6) ▲14	(+0.4%) ▲0.9%
消去	▲49		▲36		+13	-
セグメント利益	□12.6%	1,811	□10.7%	1,469	▲342	▲18.9%
建設機械・車両	□13.4%	1,718	□11.2%	1,369	▲348	▲20.3%
産業機械他	□7.5%	116	□7.8%	119	+3	+2.9%
消去または全社	▲22		▲20		+2	-

### 各セグメントの状況:

#### ■ 建設機械・車両

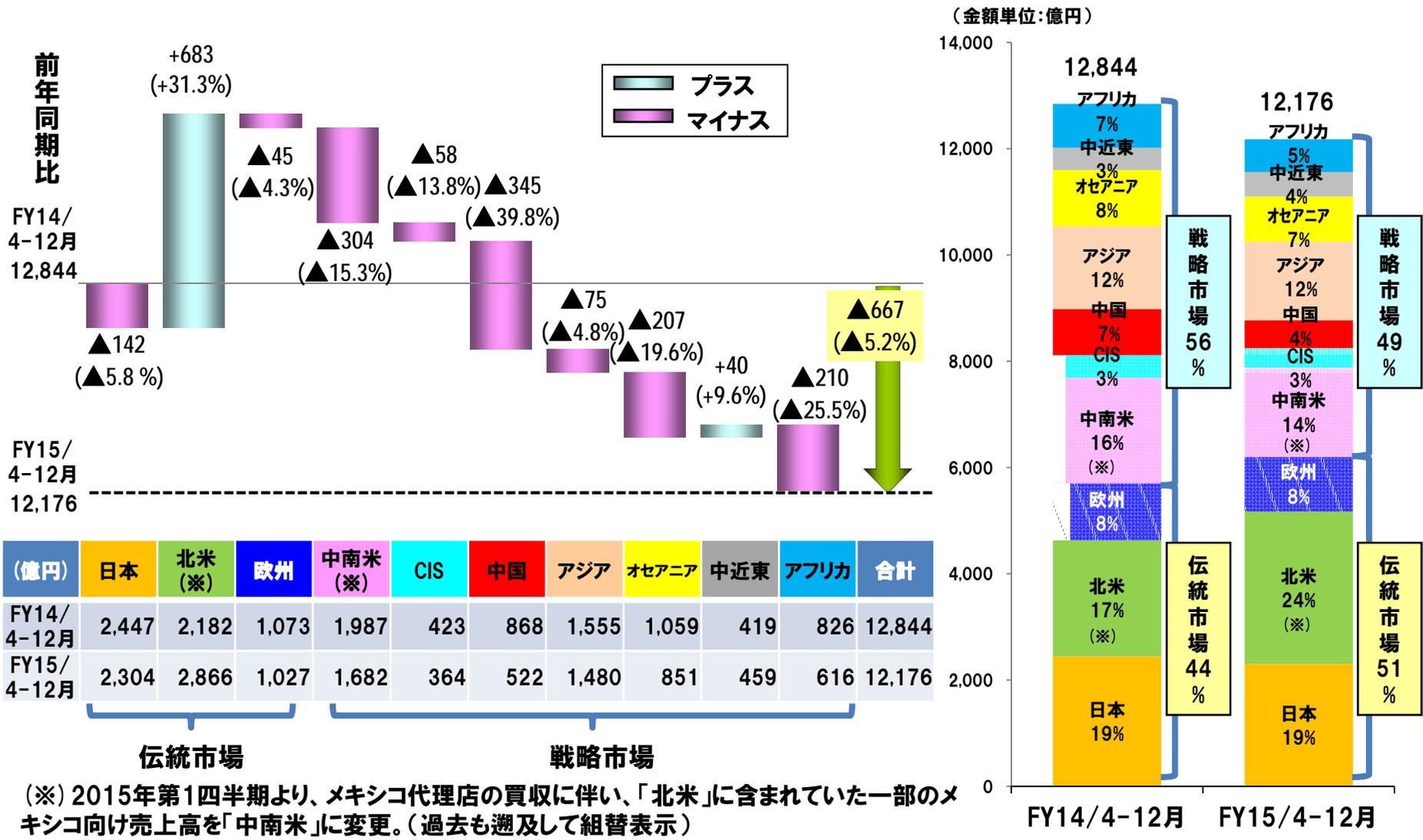
北米において一般建設機械の需要を着実に取り込んだものの、鉱山機械の需要低迷に伴う販売減少や中国をはじめとする新興国における需要が大幅に減少し、減収・減益となりました。

#### ■ 産業機械他

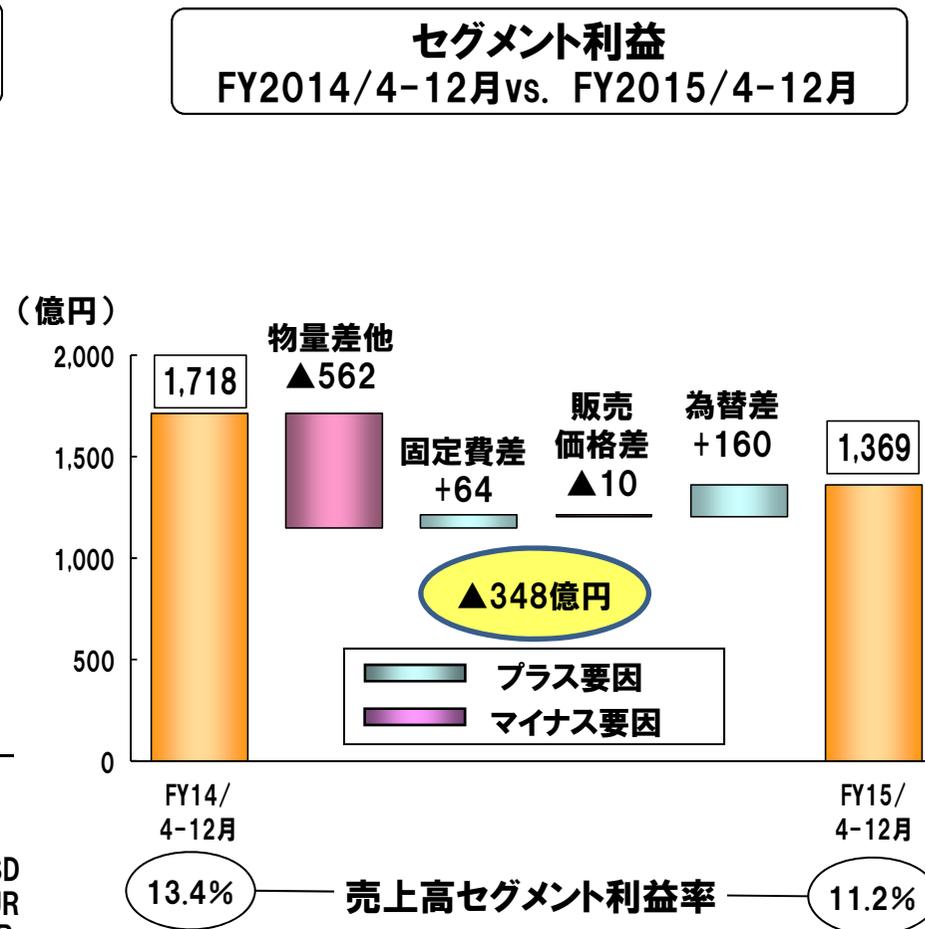
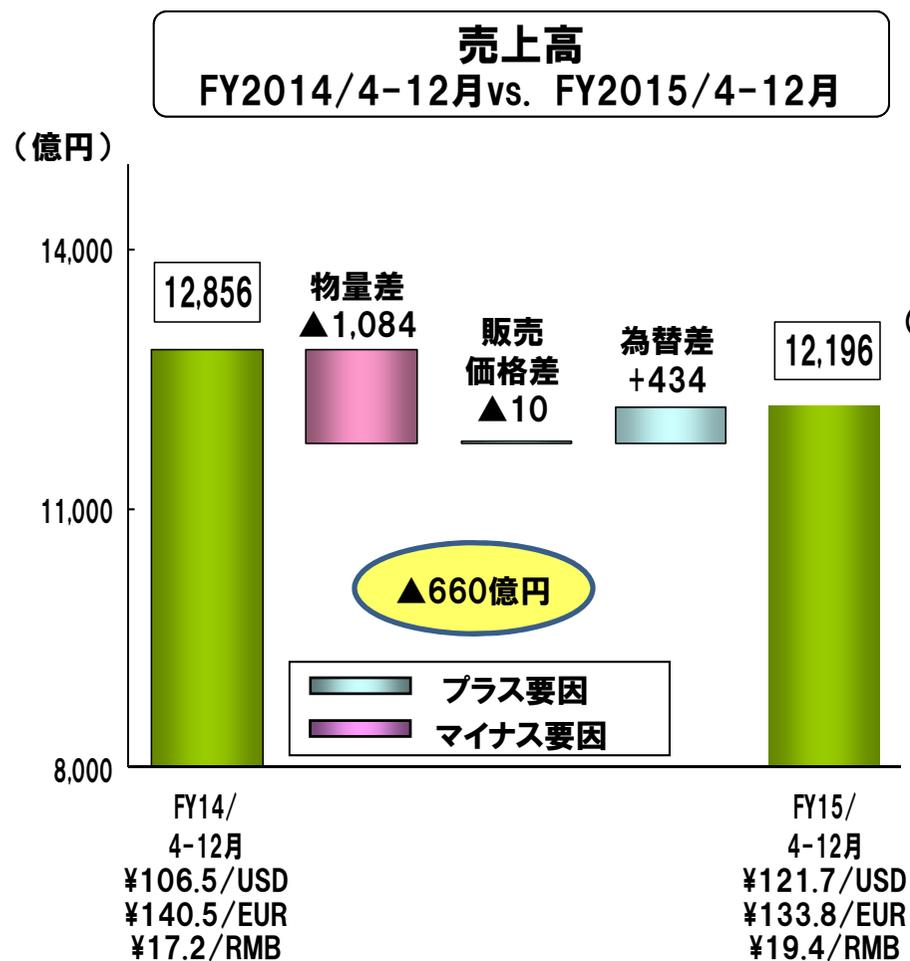
半導体業界の安定的な設備稼働に支えられギガフォンの売上げが伸長したものの全体としては減収、利益は増加しました。

## <建設機械・車両> 2015年度第3四半期(4月-12月)の地域別売上高(外部顧客向け) 6

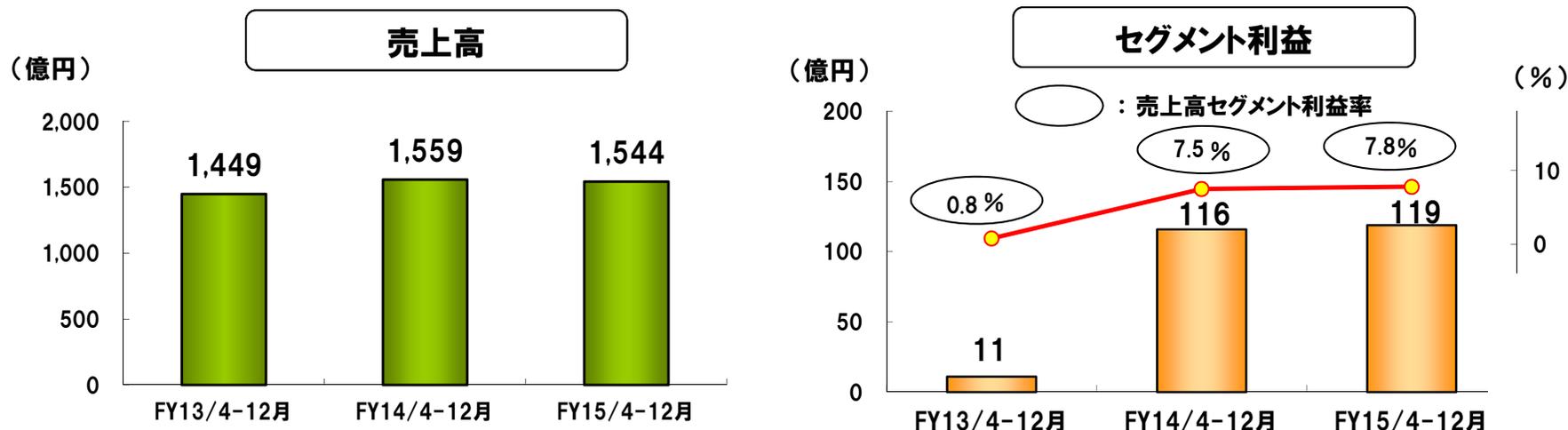
- ・外部顧客向け売上高は前年同期比▲5.2%減収の1兆2,176億円。
- ・北米・中近東で伸長したものの、中国・中南米・アフリカ等戦略市場における減少が大きく、伝統市場の比率が51%に増加。



- ・中国・中南米・アフリカ等戦略市場での需要減少による物量減が大きく、円安の効果があったものの、売上高は前年同期比▲660億円の減収。セグメント利益も同▲348億円の減益。
- ・売上高セグメント利益率は前年同期比▲2.2ポイント悪化し11.2%。



・半導体業界の安定的な設備稼働に支えられギガフォンの売上げが伸長したものの、鍛圧機械の販売が減少したことから、売上高は前年同期比▲0.9%減収の1,544億円、セグメント利益率は7.8%。



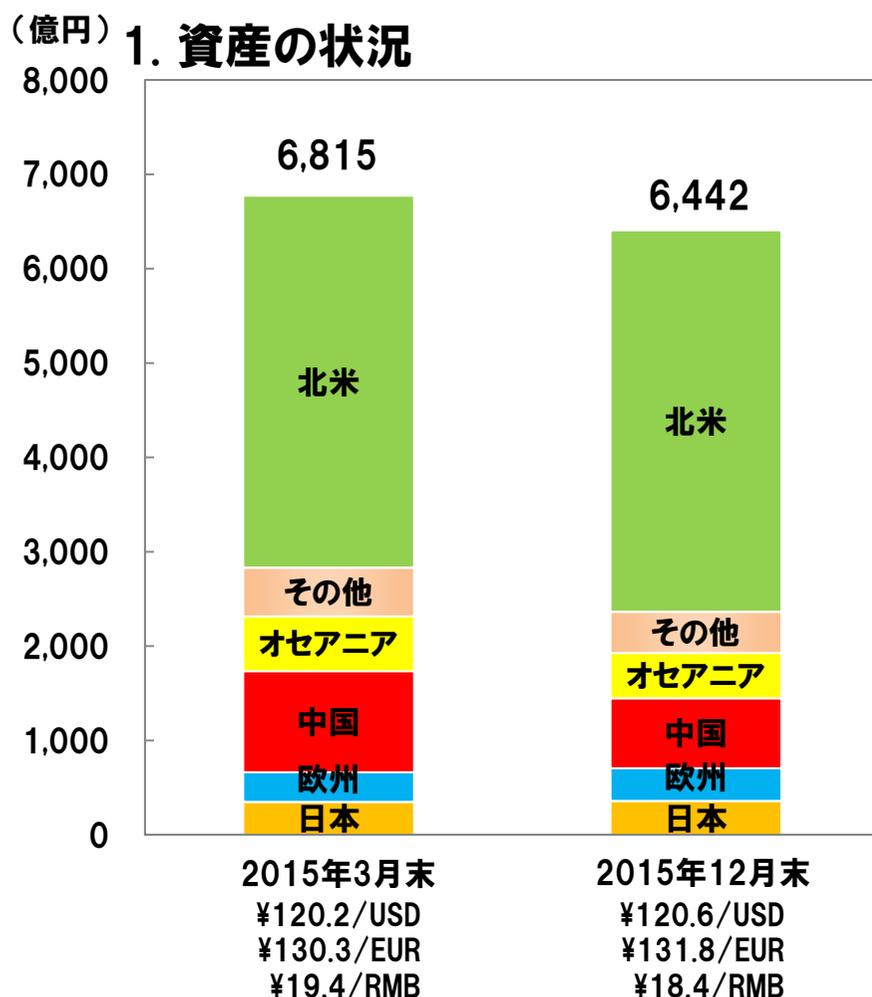
### 売上高の内訳

金額単位:億円	FY13/ 4-12月	FY14/ 4-12月	FY15/ 4-12月	前年同期比	
				増減	増減率
コマツ産機等 (プレス事業合計)	376	429	404	▲24	▲5.6%
コマツNTC [うち、ワイヤーソー]	473 [28]	525 [58]	517 [62]	▲7 [+4]	▲1.5% [+7.1%]
その他 [うち、ギガフォン] [うち、コマツハウス]	599 [172] [107]	604 [213] [113]	622 [248] [103]	+17 [+35] [▲9]	+2.9% [+16.6%] [▲8.5%]
<b>合計</b>	<b>1,449</b>	<b>1,559</b>	<b>1,544</b>	<b>▲14</b>	<b>▲0.9%</b>

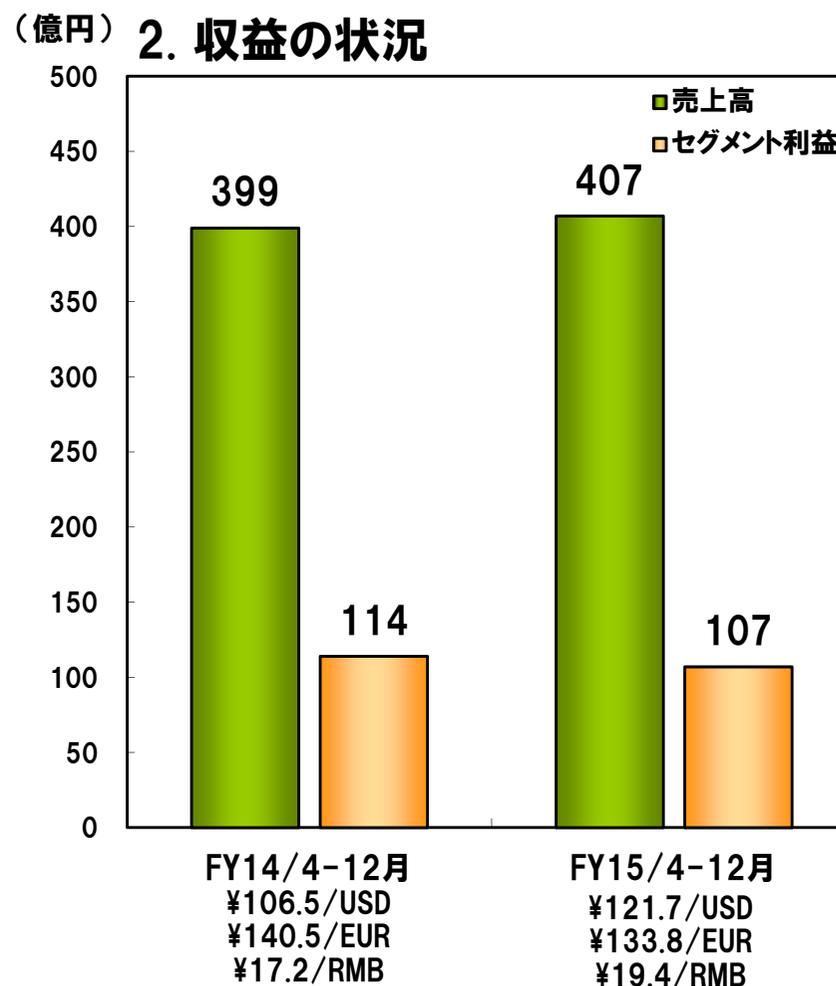
- ・資産は北米で積み増すも、中国・オセアニア等での新規取組が減ったことにより、前年度末比で減少。
- ・売上高は主に北米におけるオペレーティングリース資産が増えた為、前年同期比で増収。
- ・利益は主に中国の資産減少に伴い、前年同期比で減益。

リテールファイナンス子会社の状況

1. 資産の状況



2. 収益の状況



連結貸借対照表

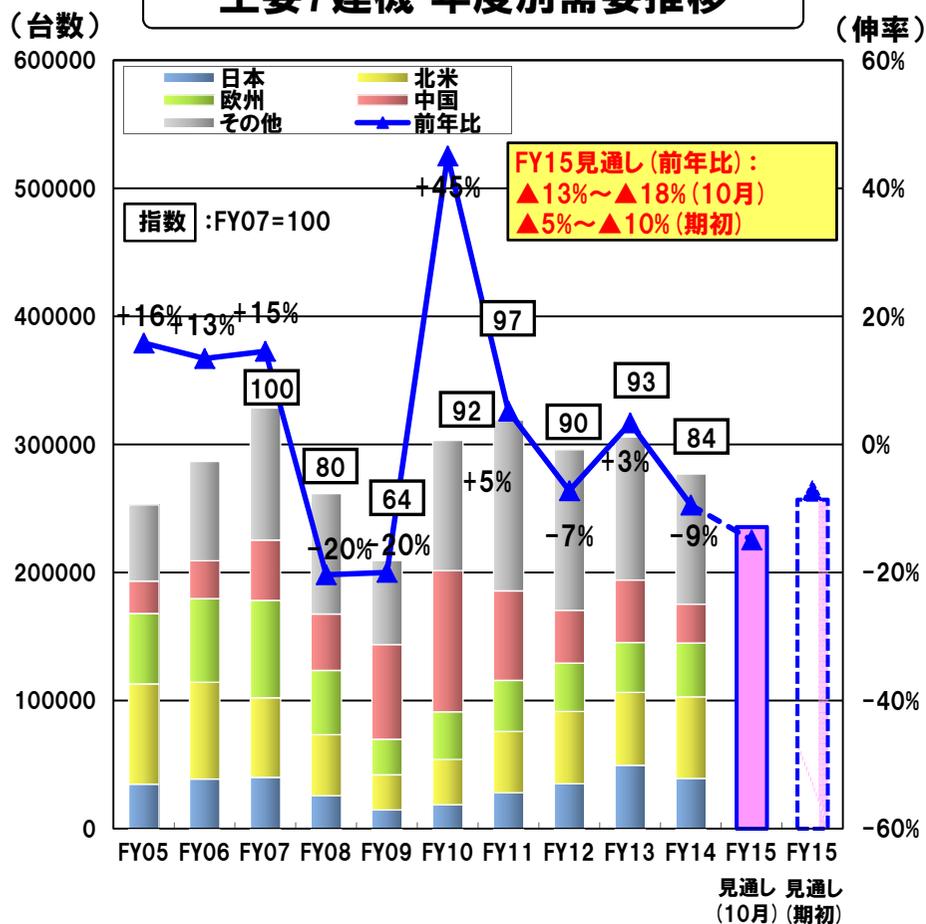
- ・ 総資産は、前年度末比で運転資金の減少等により、▲1,280億円の減少。
- ・ 株主資本比率は同+3.4ポイント増の58.0%。ネットD/Eレシオは0.27。

(金額単位:億円) ○:ネットD/Eレシオ	2015年3月末		2015年12月末		増減
	¥120.2/USD ¥130.3/EUR ¥19.4/RMB		¥120.6/USD ¥131.8/EUR ¥18.4/RMB		
現金・預金(含む定期預金) [a]	1,073		1,065		▲7
受取手形・売掛金(含む長期売上債権)	9,002		8,752		▲249
<除くリテールファイナンス会社>	<3,981>		<3,772>		<▲209>
棚卸資産	6,228		5,866		▲362
有形固定資産	7,439		7,225		▲213
その他資産	4,240		3,793		▲447
<b>資産合計</b>	<b>27,984</b>		<b>26,703</b>		<b>▲1,280</b>
支払手形・買掛金	2,250		1,943		▲307
借入金・社債 [b]	5,891		5,300		▲591
<除くリテールファイナンス会社>	<902>		<527>		<▲375>
その他負債	3,856		3,303		▲553
<b>負債合計</b>	<b>11,999</b>		<b>10,547</b>		<b>▲1,451</b>
(株主資本比率)	(54.6%)		(58.0%)		(+3.4ポイント)
株主資本	15,289		15,479		+189
非支配持分	695		677		▲18
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>27,984</b>		<b>26,703</b>		<b>▲1,280</b>
<b>ネットベースの借入金・社債 [b-a]</b>	0.32	<b>4,818</b>	0.27	<b>4,234</b>	<b>▲584</b>
ネットD/Eレシオ(リテールファイナンス会社を除いた場合)	▲0.00		▲0.04		

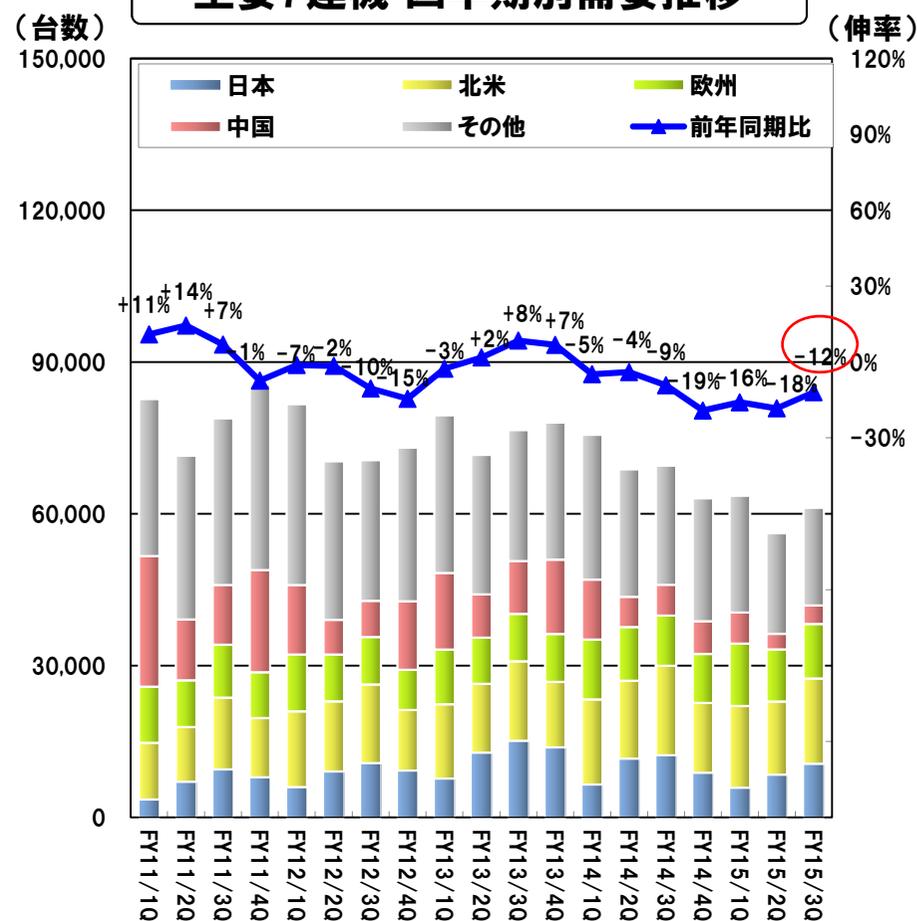
## II. <建設・鉱山機械> 需要推移と見通し

- ・2015年度第3四半期の需要は、前年同期比▲12%。
- ・地域別には、欧州等一部堅調な地域はあったものの、中国をはじめとする戦略市場の需要が引き続き低迷。

### 主要7建機 年度別需要推移



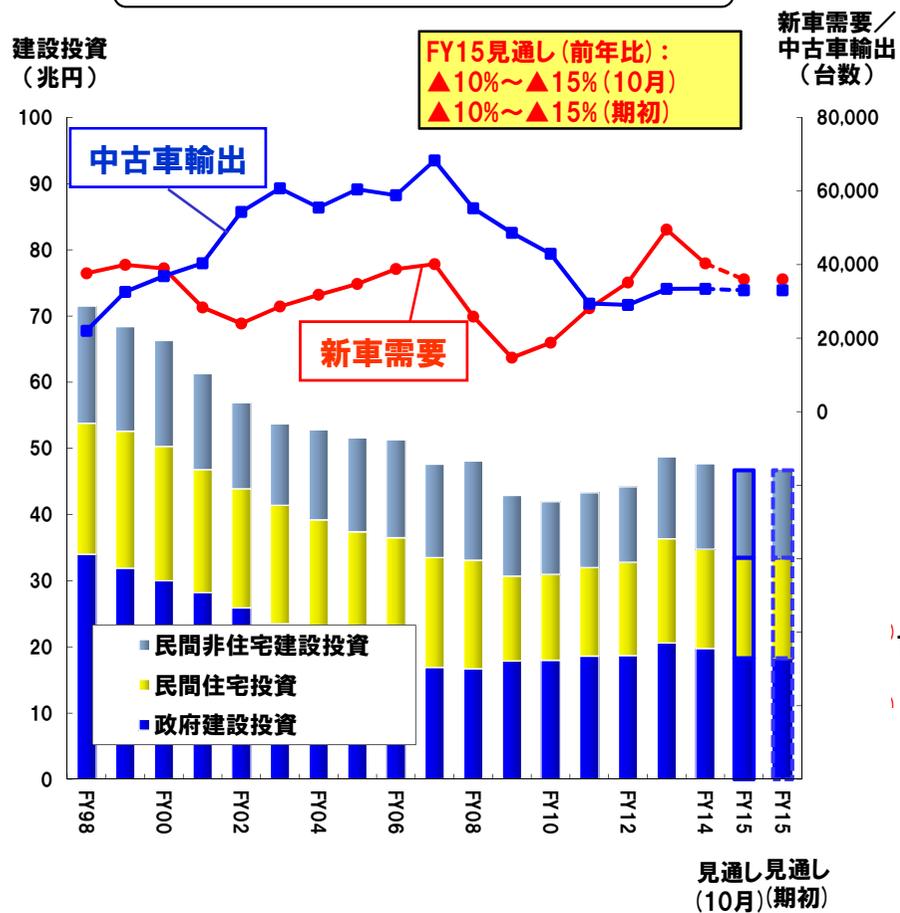
### 主要7建機 四半期別需要推移



【出所】 主要7建機需要:コマツの推定

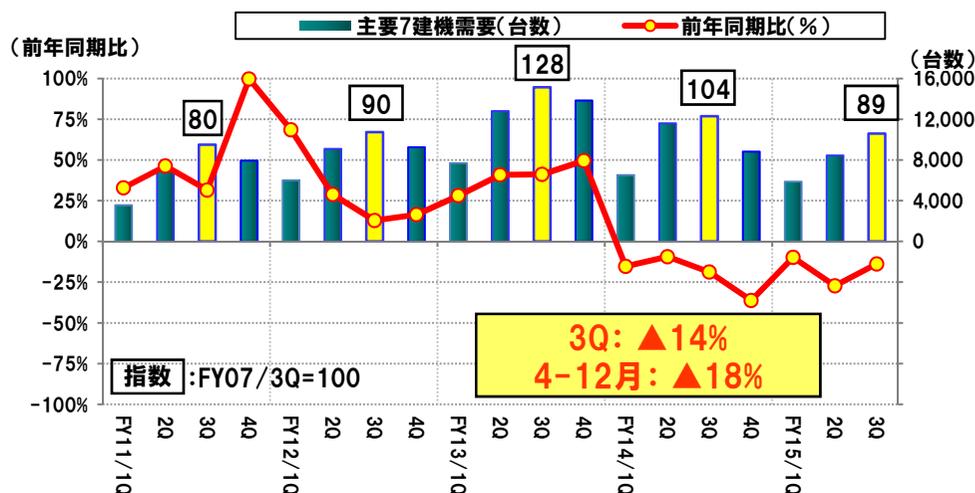
- ・2015年度第3四半期の需要は、前年同期比▲14%。
- ・油圧ショベルのレンタル向け需要は引き続き低迷。

### 新車需要(主要7建機)と建設投資

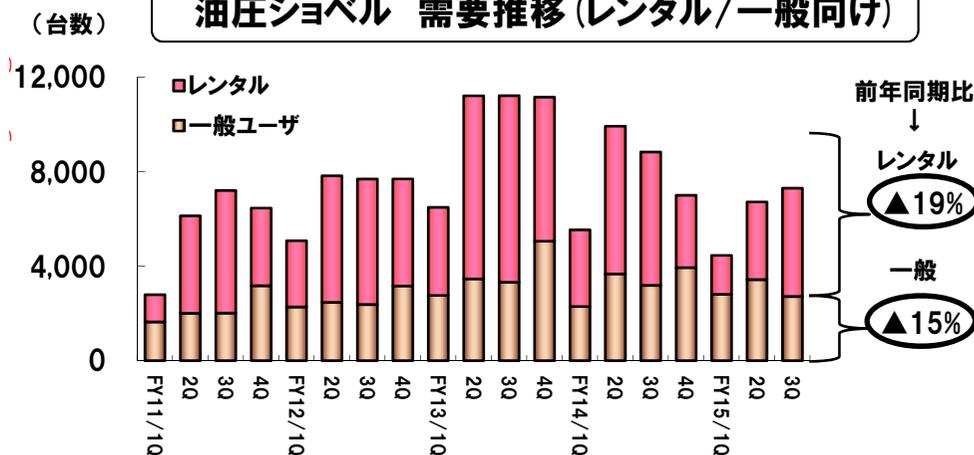


【出所】建設投資:国土交通省/建設経済研究所  
主要7建機需要:コマツの推定  
中古車輸出量:コマツの推定

### 主要7建機 四半期別需要推移

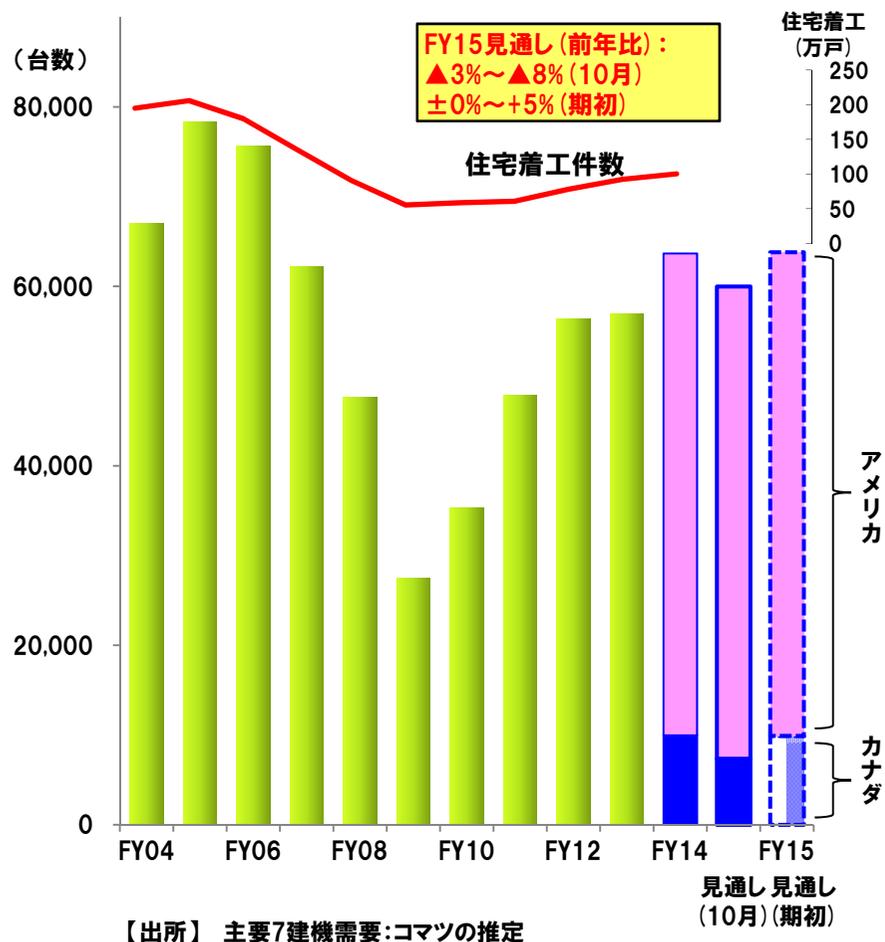


### 油圧ショベル 需要推移(レンタル/一般向け)

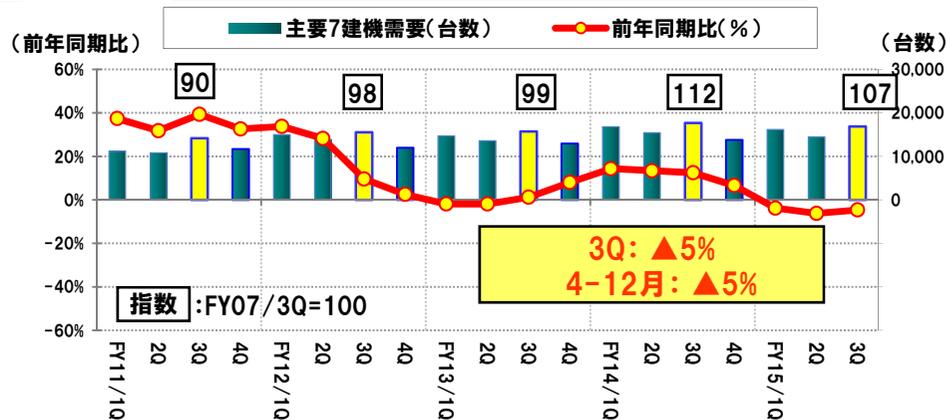


- ・2015年度第3四半期の需要は、前年同期比▲5%。
- ・住宅建設および道路などのインフラ分野向けの需要は堅調に推移しているものの、鉱山・エネルギー分野向けの需要は引き続き低迷。

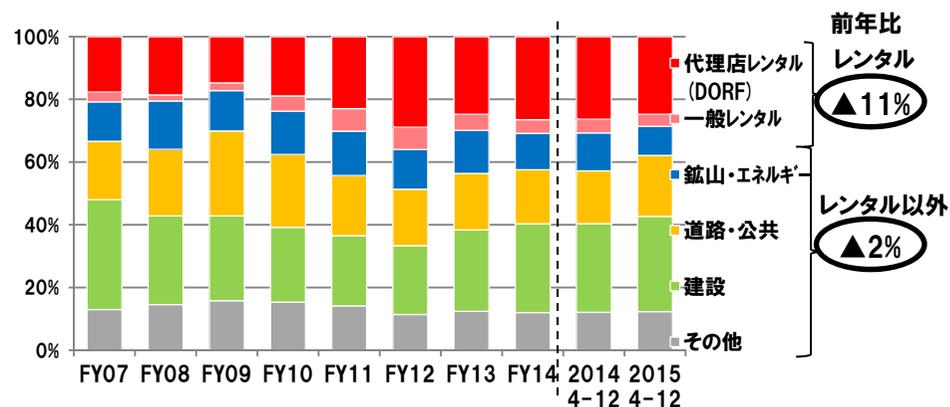
### 主要7建機 需要推移と住宅着工件数



### 主要7建機 四半期需要推移

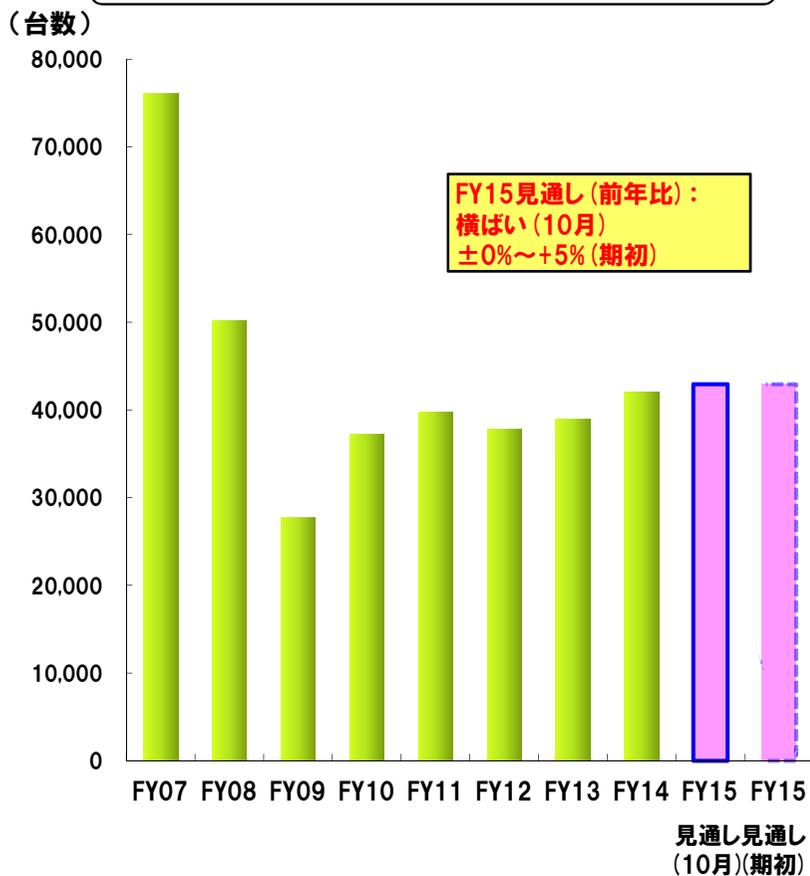


### セグメント別需要構成比 (台数ベース)



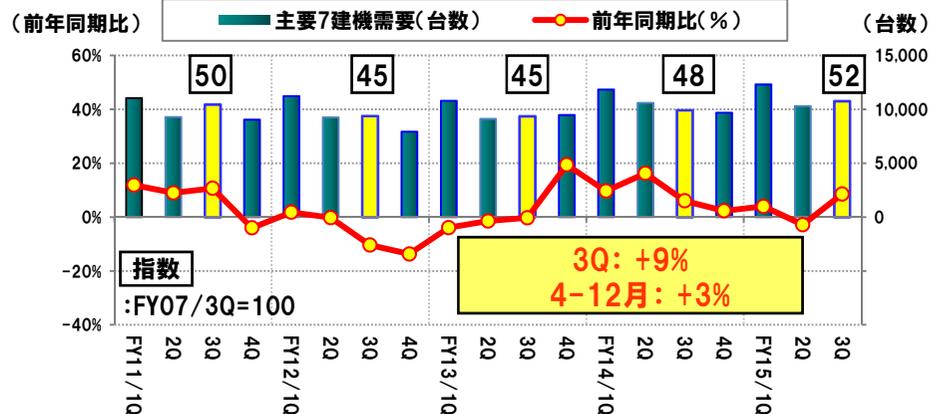
・2015年度第3四半期は、主に北欧・南欧・東欧の需要が伸長し、前年同期比+9%。

### 主要7建機 年度別需要推移

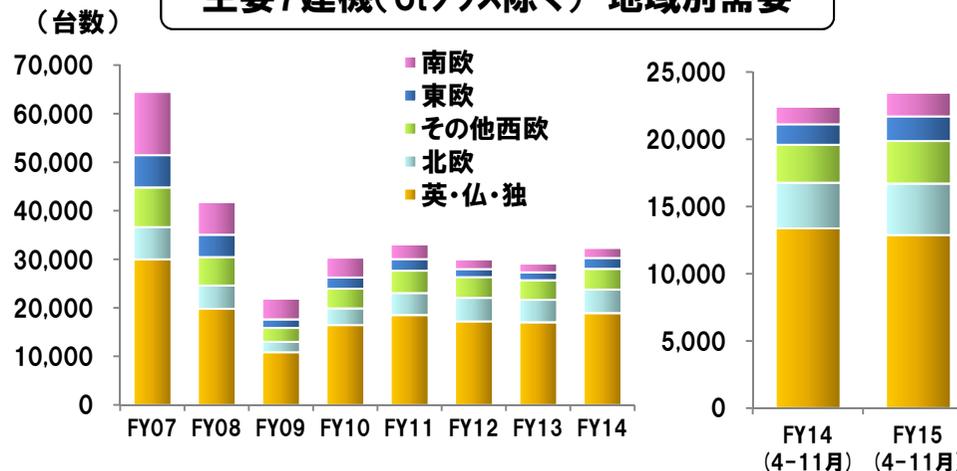


【出所】 主要7建機需要:コマツの推定

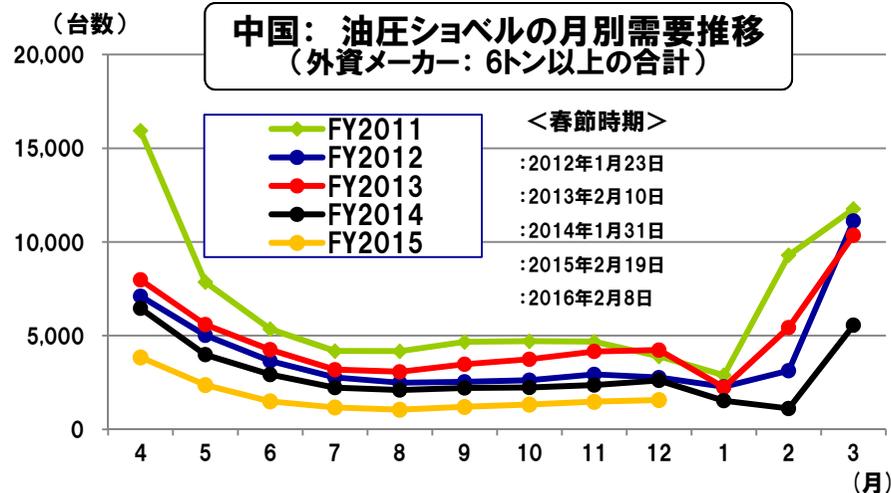
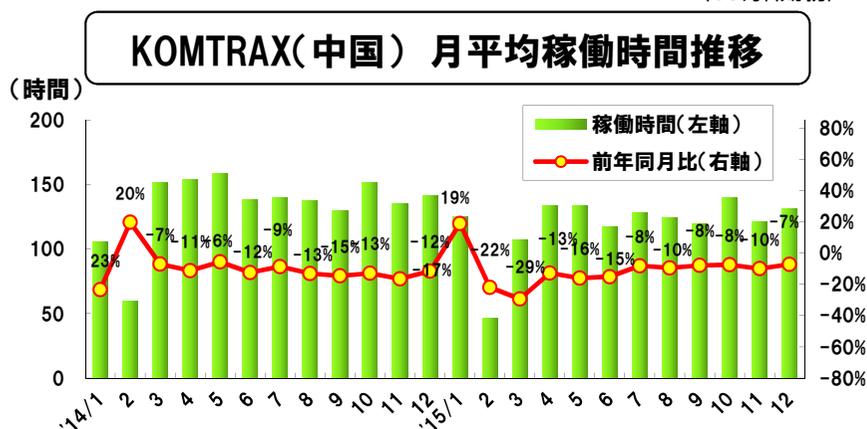
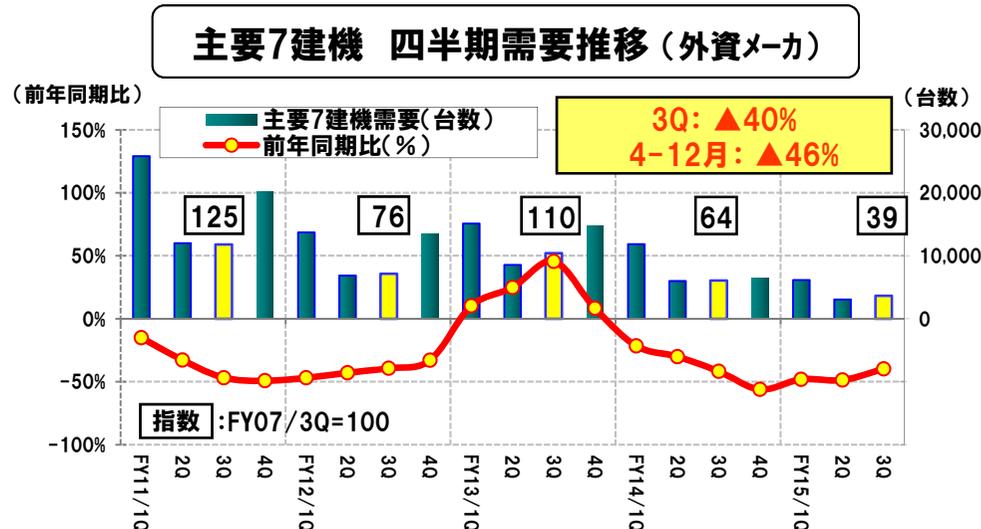
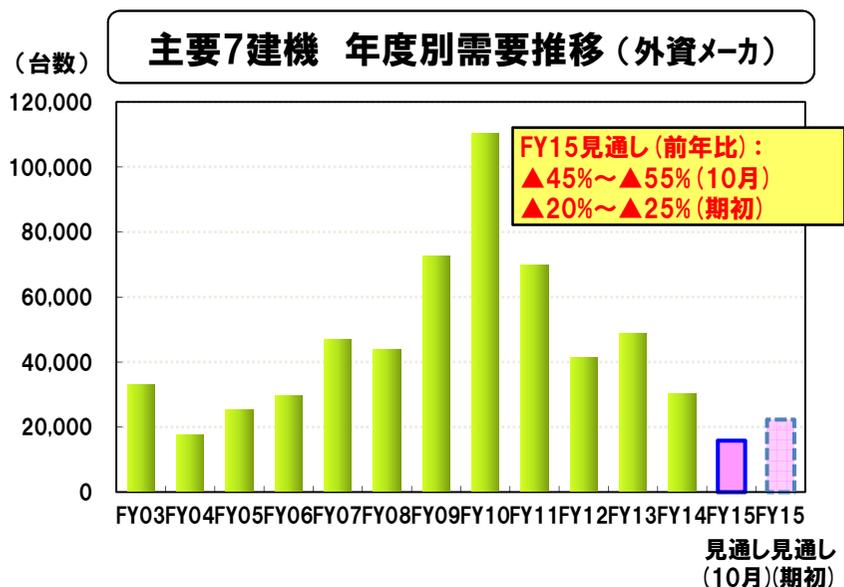
### 主要7建機 四半期需要推移



### 主要7建機(6tクラス除く) 地域別需要



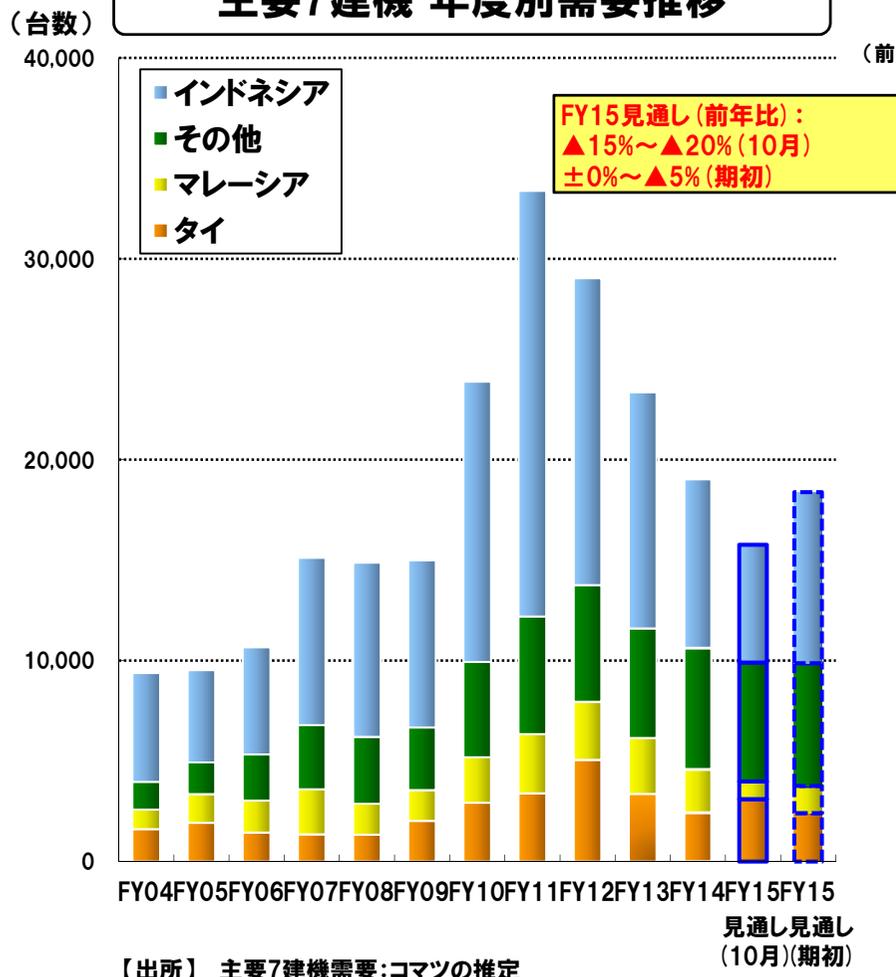
- ・2015年度第3四半期の需要は、前年同期比▲40%。
- ・政府による金融緩和などの景気下支え策の効果は見え、引き続き大幅に需要が減少。



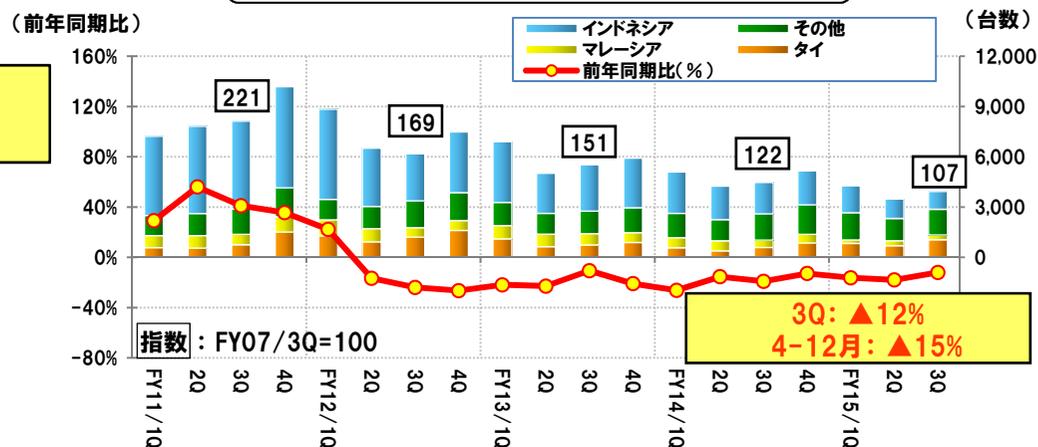
【出所】 主要7建機・油圧ショベル需要: コマツの推定

- ・2015年度第3四半期の需要は、前年同期比▲12%。
- ・タイでの需要が伸長したものの、最大市場のインドネシアやマレーシアでの落ちこみの影響大。

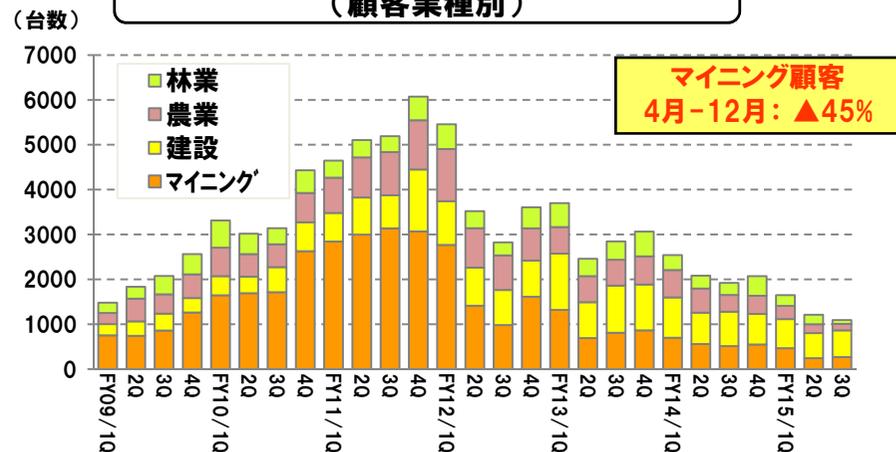
### 主要7建機 年度別需要推移



### 主要7建機 四半期需要推移



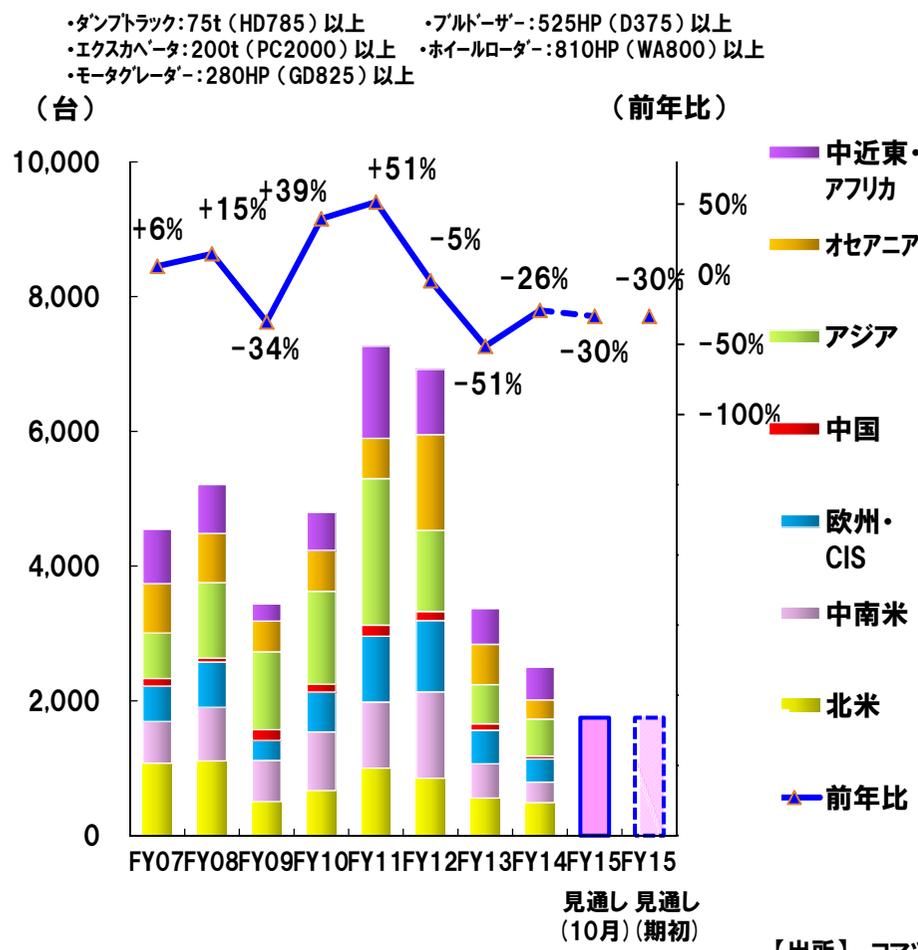
### インドネシア: 建設・鉱山機械需要推移 (顧客業種別)



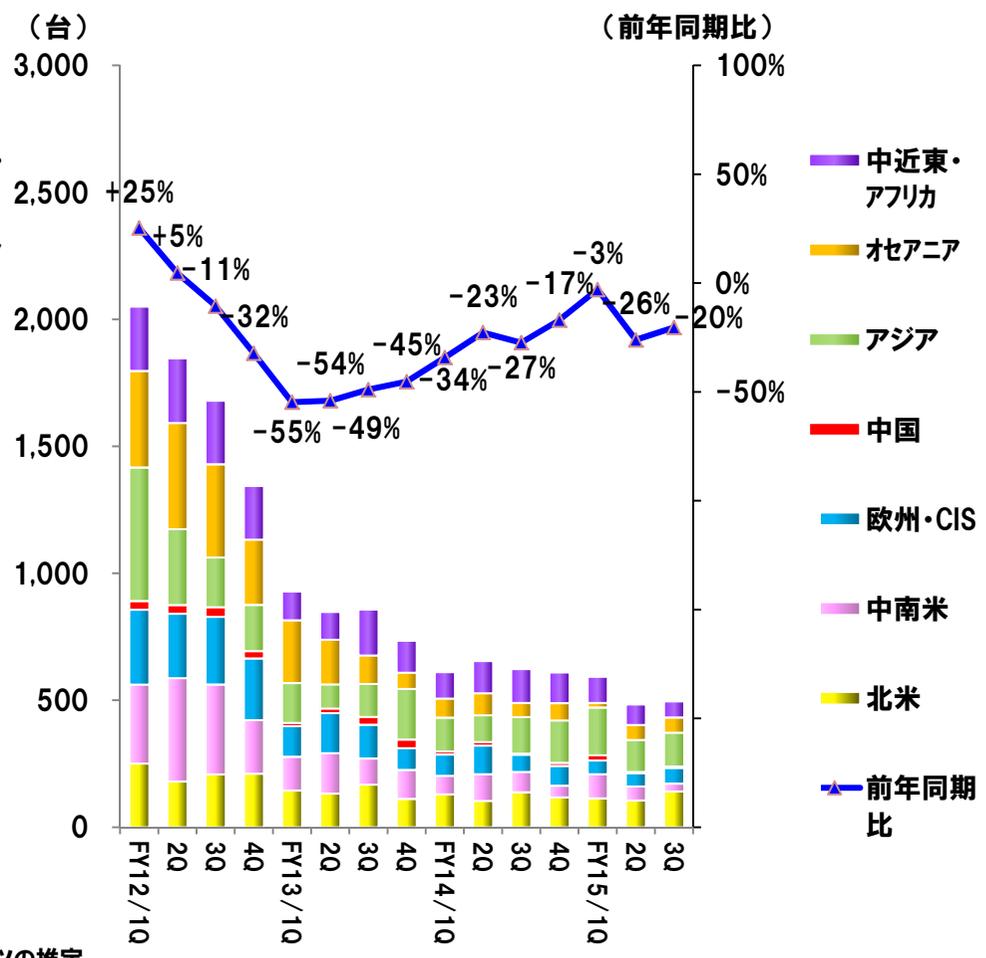
### **III. <建設・鉱山機械> 鉱山機械と部品の状況、他**

**・2015年度第3四半期の鉱山機械の世界需要は、減少幅は縮まったものの、引き続き低調に推移し、前年同期比▲20%。**

**鉱山機械 年度別需要推移**

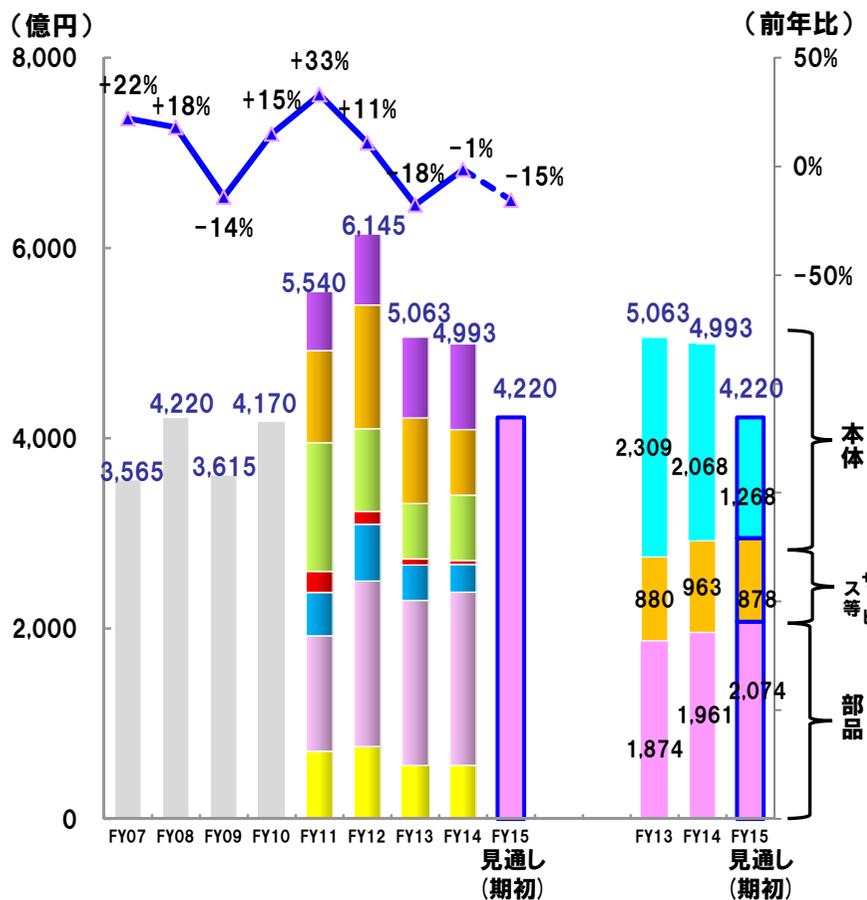


**鉱山機械 四半期別需要推移**

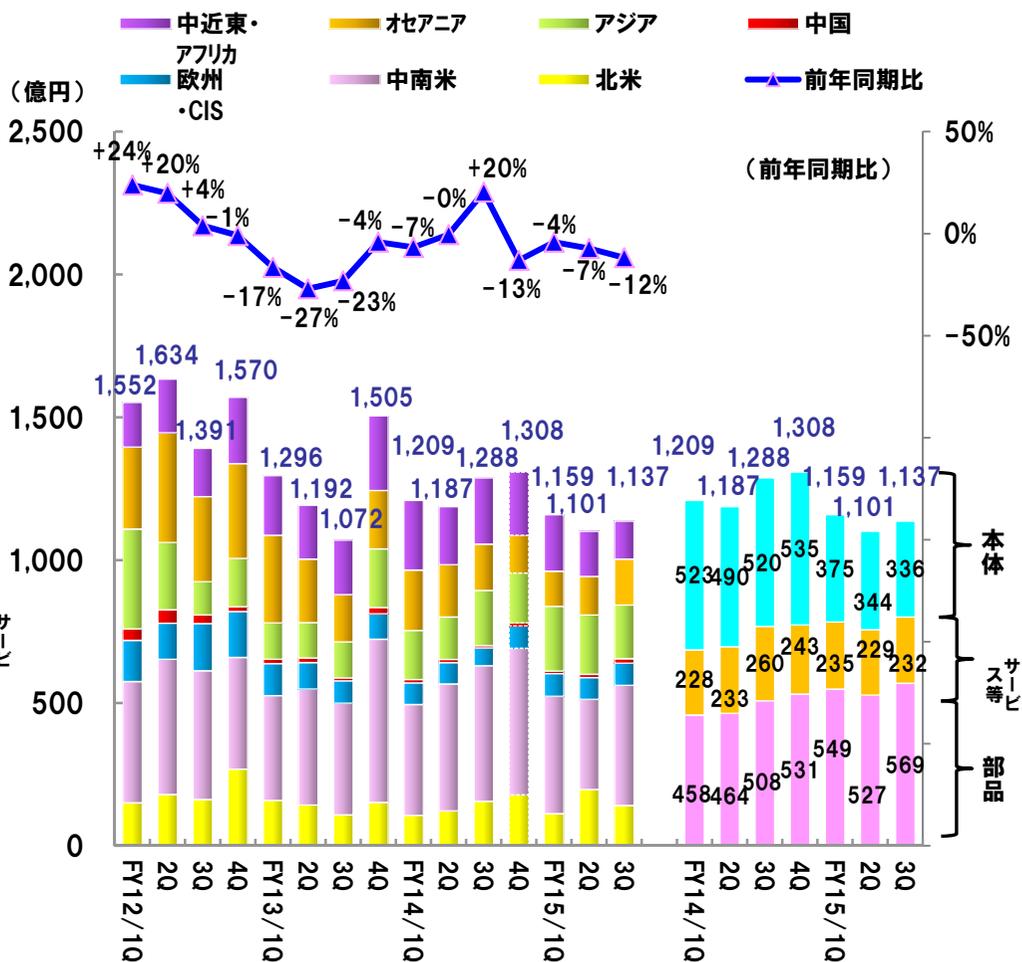


・2015年第3四半期の鉱山機械の売上高は、本体販売が引き続き低迷し、前年同期比▲12%減の1,137億円。  
 ・部品は前年同期比増収。

鉱山機械 年度別売上高 (部品・サービス含む)

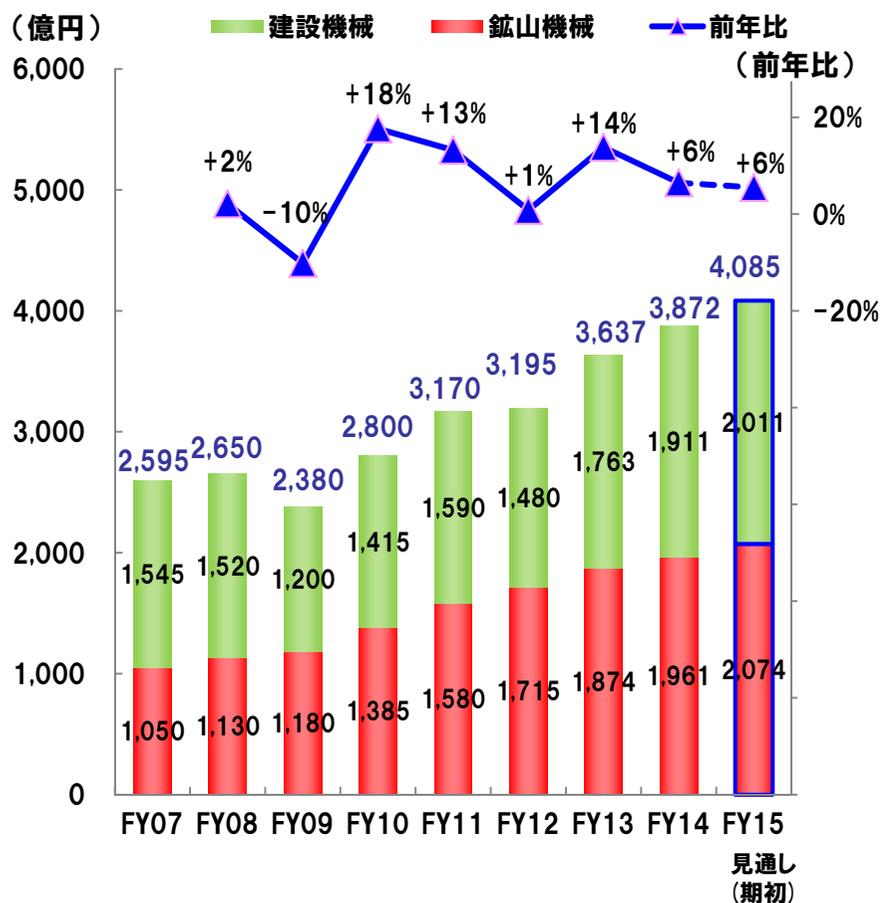


鉱山機械 四半期別売上高 (部品・サービス含む)

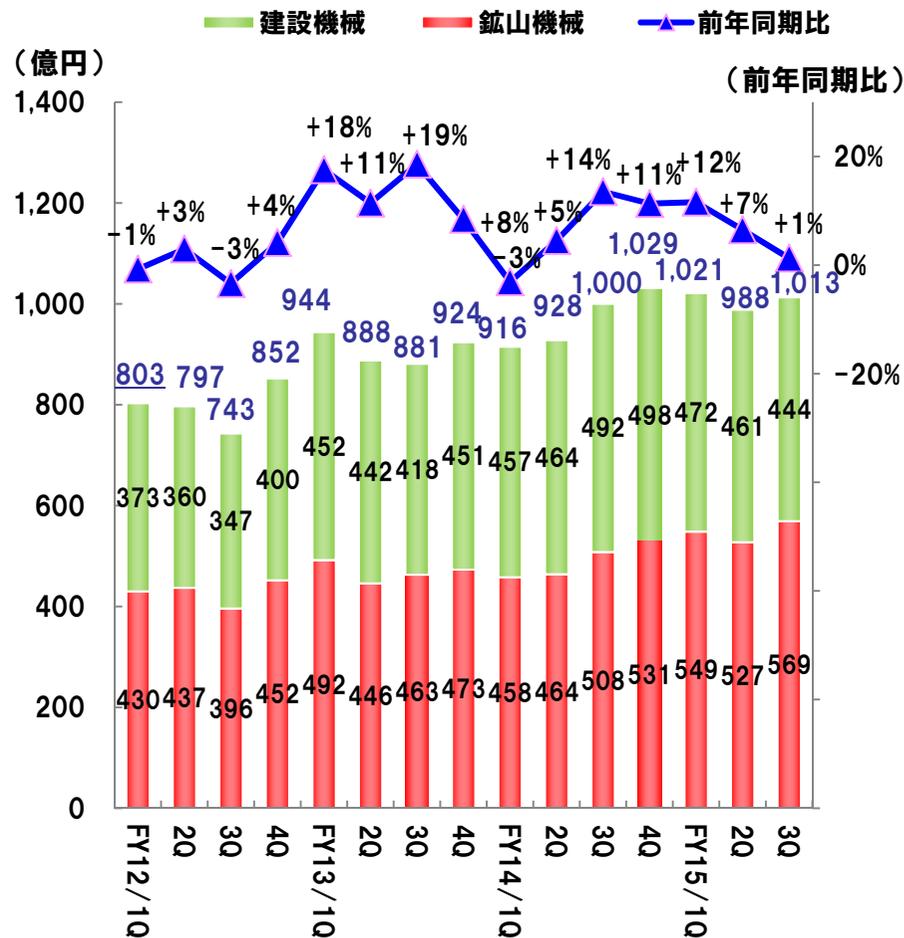


・2015年度第3四半期の部品売上高は前年同期比+1%増の1,013億円。  
 ・新車需要が落ち込む中、鉱山機械部品の売上が伸長し、部品全体で為替影響を除いてプラスで推移。

部品売上高



四半期別 部品売上高推移



- ・代理店向けトレーニングの強化を狙いとして、石川県小松市の〈こまつの杜〉の敷地内に『モデルトレーニングセンタ』を新設し、昨年11月より本格稼働を開始。
- ・コマツは、国内外に17ヶ国19ヶ所のトレーニングセンタを有し、今回の『モデルトレーニングセンタ』で培うノウハウをグローバルに展開し、代理店サービス員の人材育成支援を加速。

・モデルトレーニングセンタは、代理店のモデルとなる整備工場環境を再現。



### [モデルトレーニングセンタの概要]

- ・所在地 石川県小松市こまつの杜1番 (の一部)
- ・建築面積 (研修棟) 1,854.49㎡
- ・投資額 約10億円
- ・主な設備  
整備・溶接作業訓練エリア、安全訓練エリア、教室、休憩所、更衣室、トイレ、倉庫等



- ・危険予知などの安全訓練から、正確かつ効率的な整備・修理技術の修得に至るまで、実践的なトレーニングを提供。



2月1日より発売を開始する大型ハイブリッド油圧ショベル「HB335 (LC) -3/HB365 (LC) -3」<オフロード法2014年基準適合>

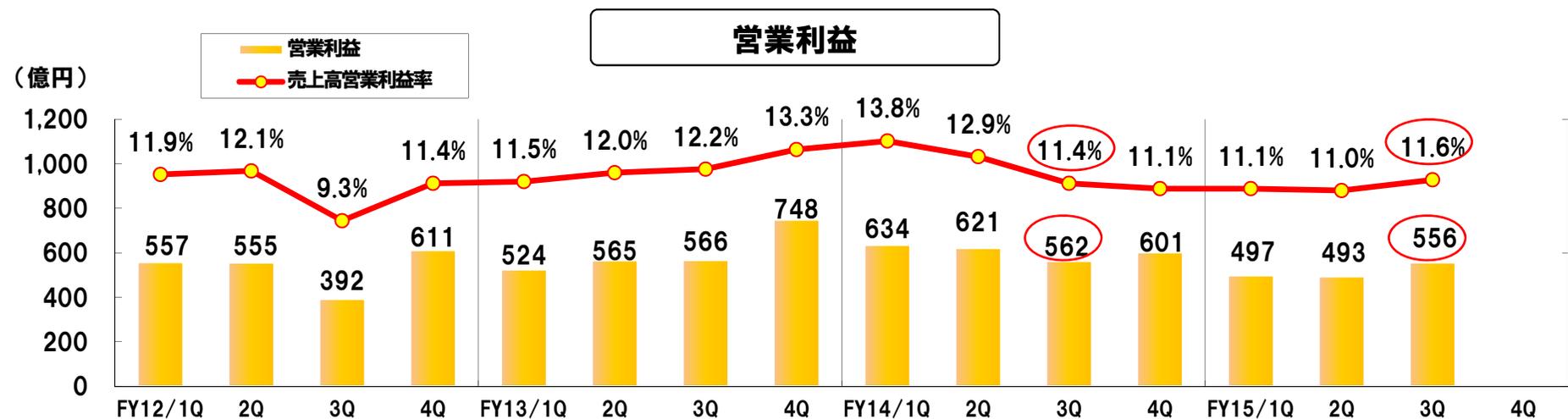
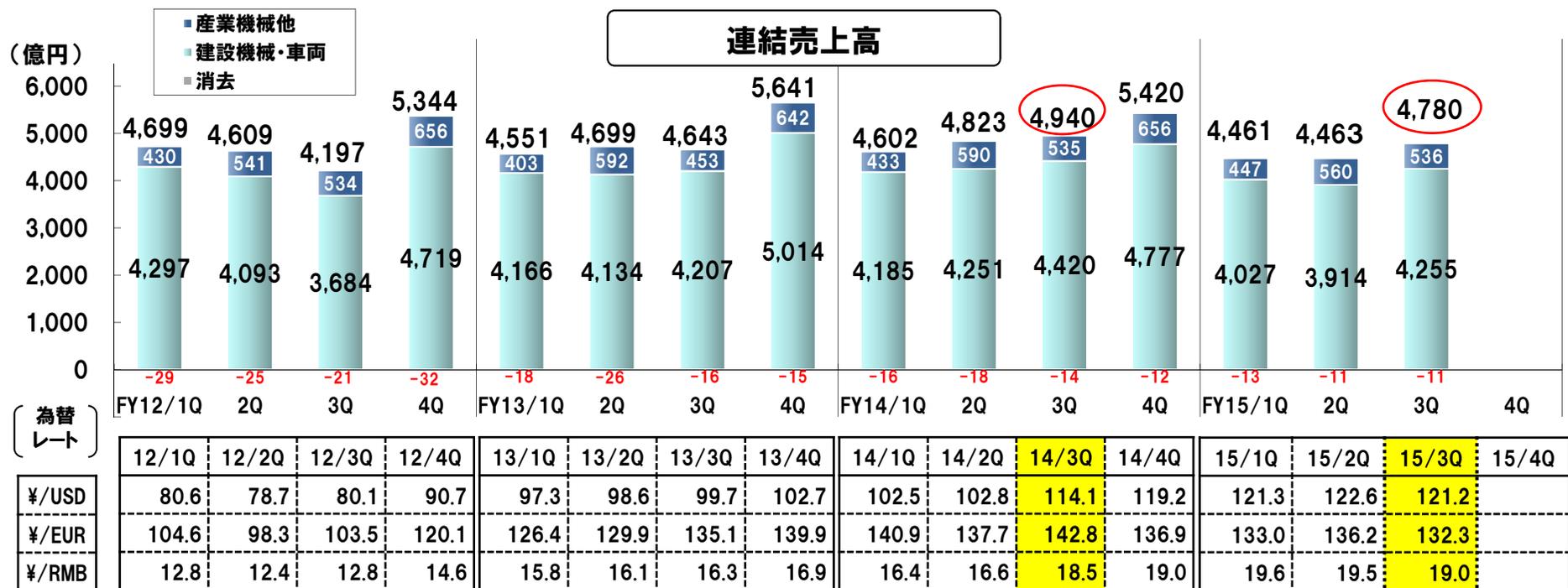
### 【業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項】

前述の将来の業績予想に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

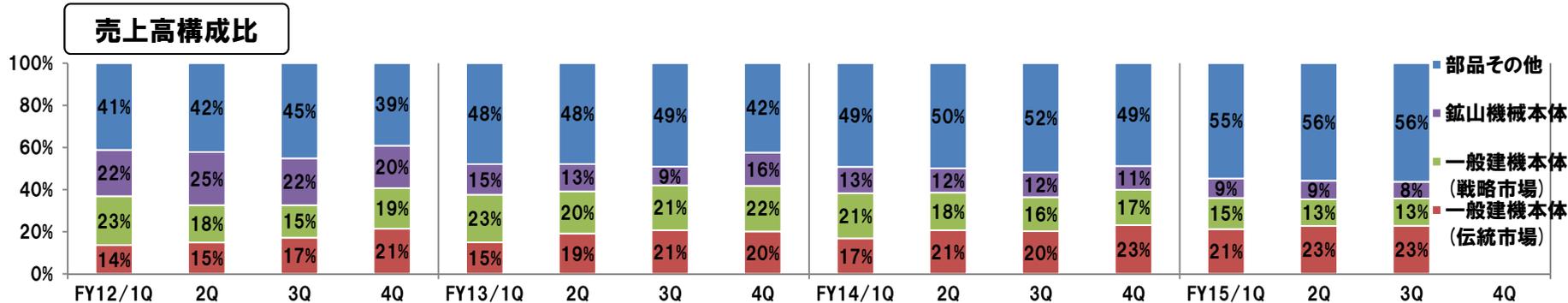
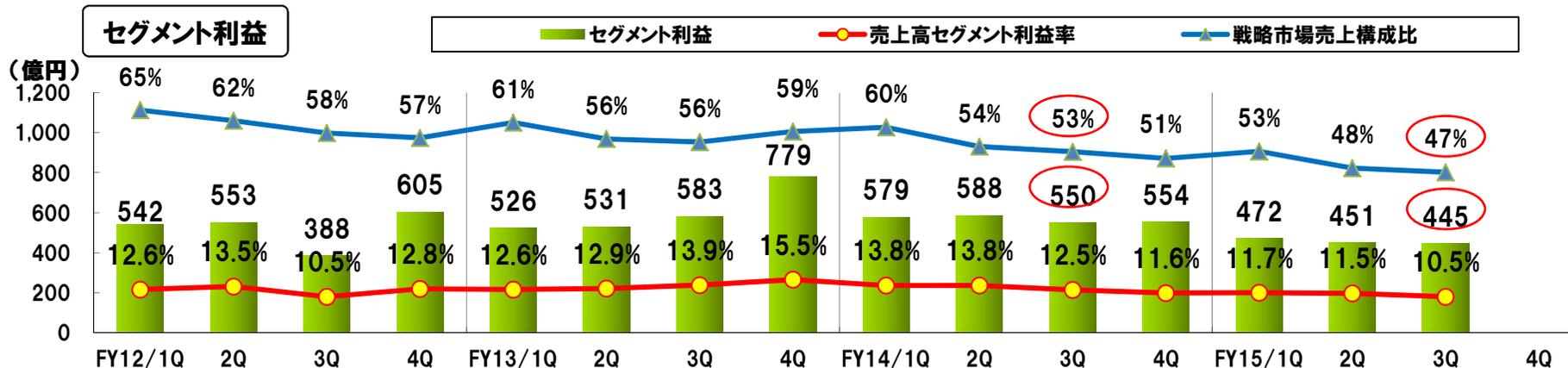
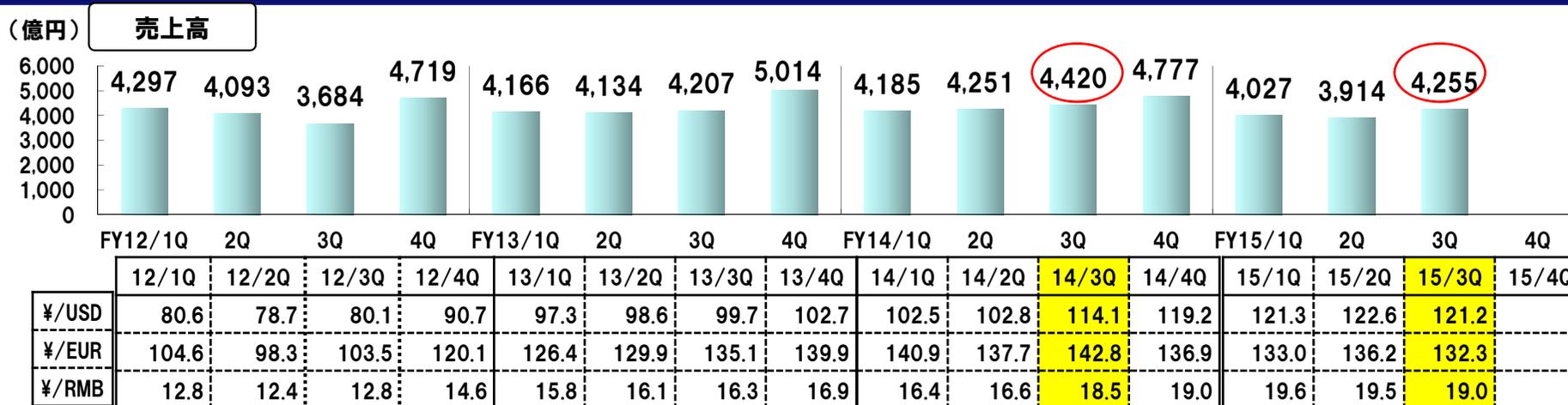
コマツ 経営管理部 TEL: 03-5561-2687  
FAX: 03-3582-8332  
<http://www.komatsu.co.jp/>

## 参考資料

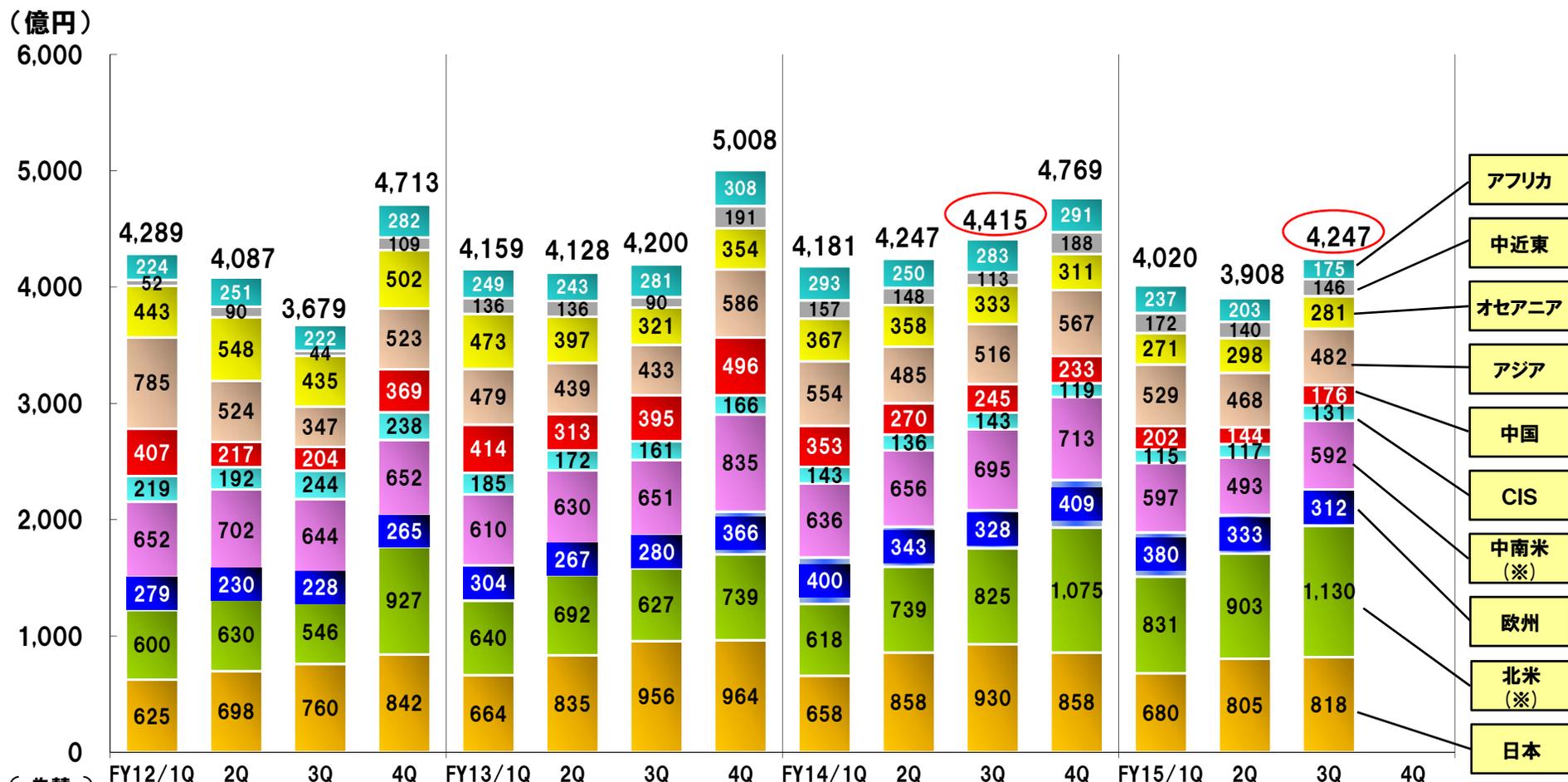
### 四半期毎の売上高と営業利益の推移



### <建設機械・車両> 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移



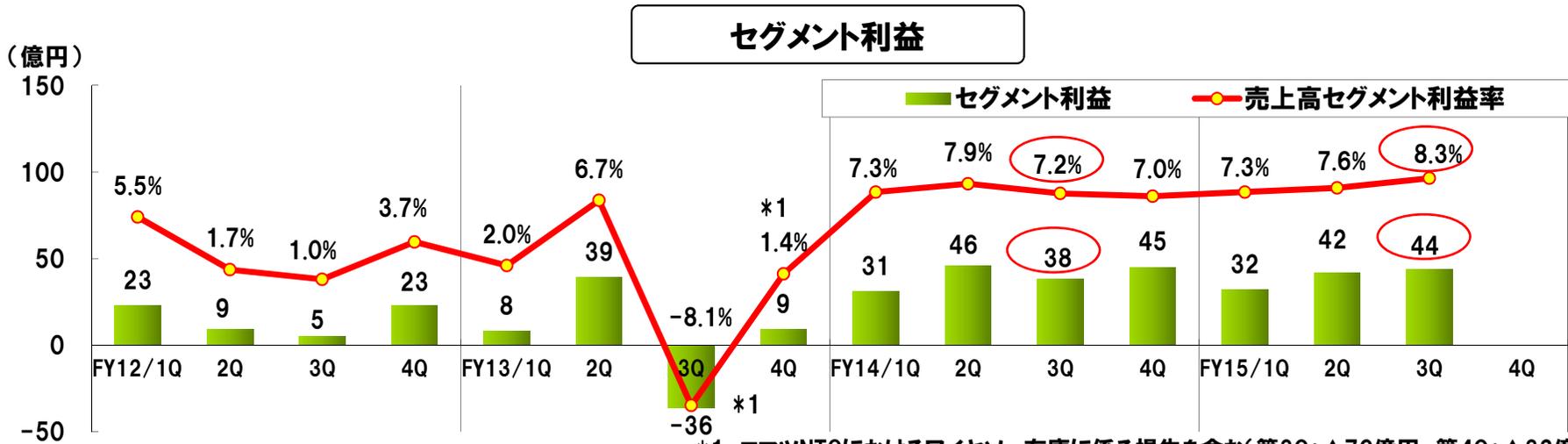
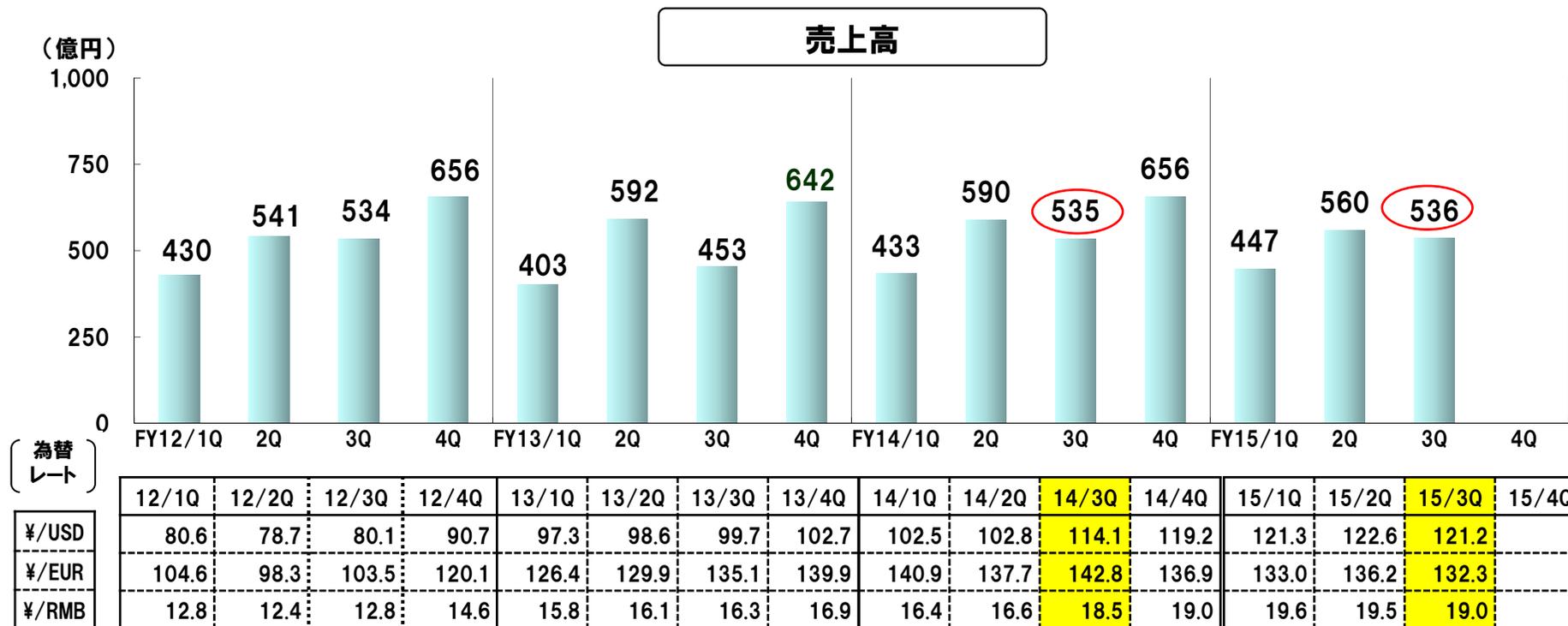
### <建設機械・車両> 四半期毎の地域別売上高(外部顧客向け)



	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/4Q	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	14/2Q	14/3Q	14/4Q	15/1Q	15/2Q	15/3Q	15/4Q
¥/USD	80.6	78.7	80.1	90.7	97.3	98.6	99.7	102.7	102.5	102.8	114.1	119.2	121.3	122.6	121.2	
¥/EUR	104.6	98.3	103.5	120.1	126.4	129.9	135.1	139.9	140.9	137.7	142.8	136.9	133.0	136.2	132.3	
¥/RMB	12.8	12.4	12.8	14.6	15.8	16.1	16.3	16.9	16.4	16.6	18.5	19.0	19.6	19.5	19.0	

(※) 当第1四半期より、メキシコ代理店の買収に伴い、「北米」に含まれていた一部のメキシコ向け売上高を「中南米」に変更。(過去分も遡及して組替表示)

## <産業機械他> 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

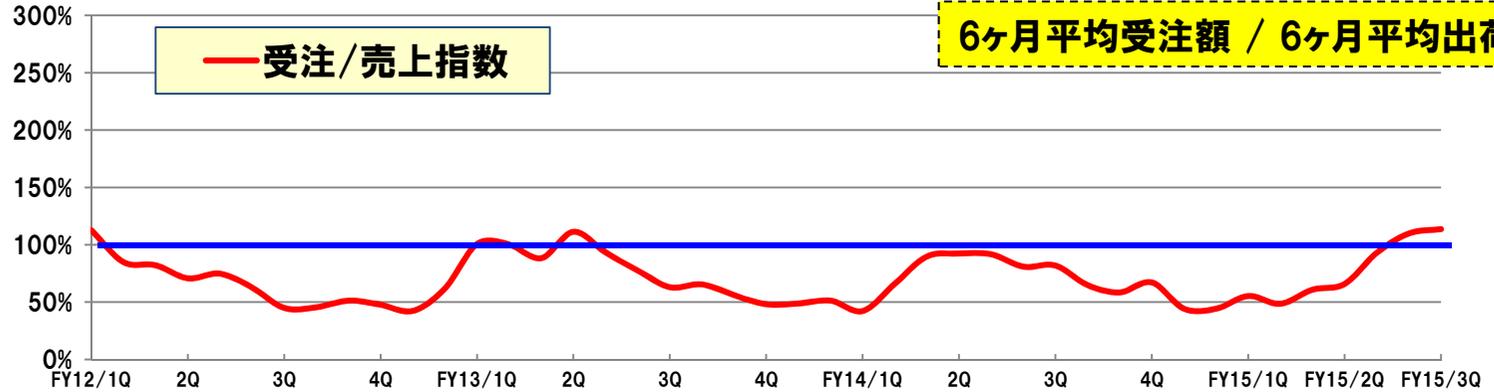


\*1 コマツNTCにおけるワイヤソー在庫に係る損失を含む(第3Q:▲76億円、第4Q:▲32億円)

鉱山機械(本体) 受注/売上指数(6ヶ月)

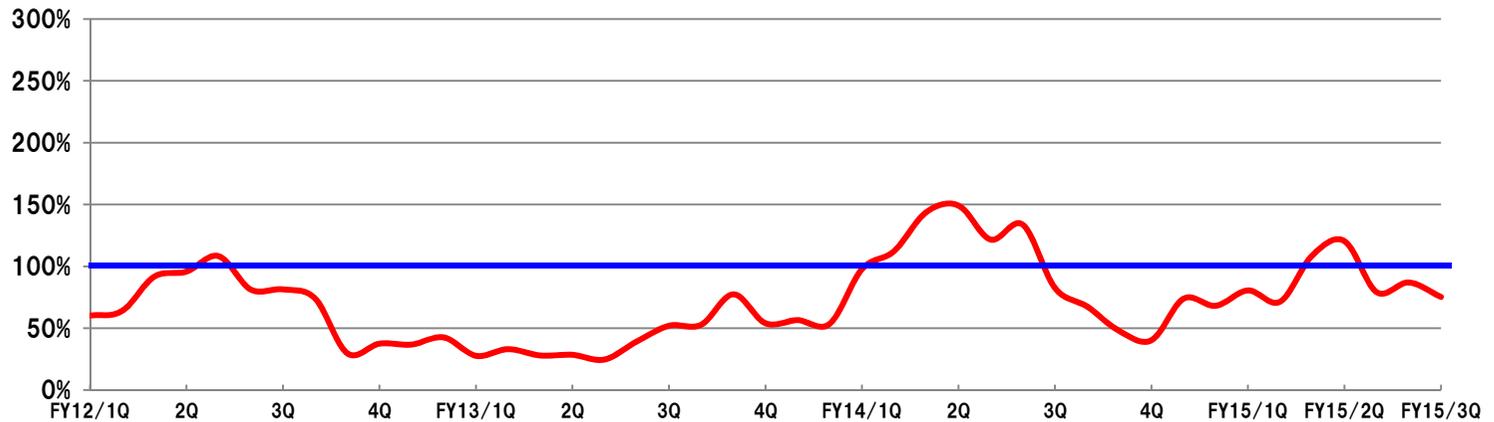
コマツアメリカ  
(マイニング)

730E, 830E, 860E,  
930E, 960E,



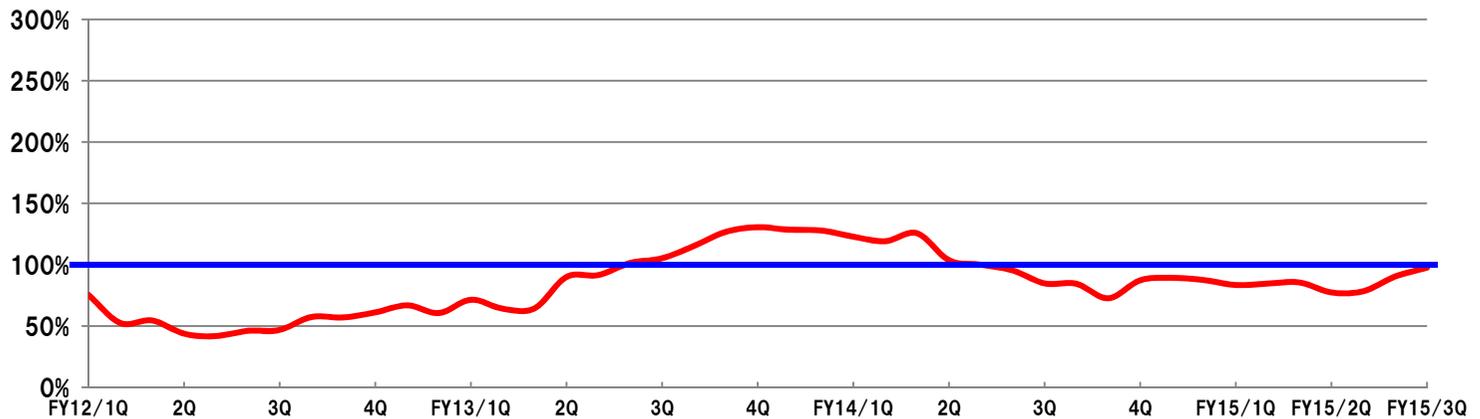
コマツマイニング  
ジャーマニー

PC3000, PC4000  
PC5500, PC8000



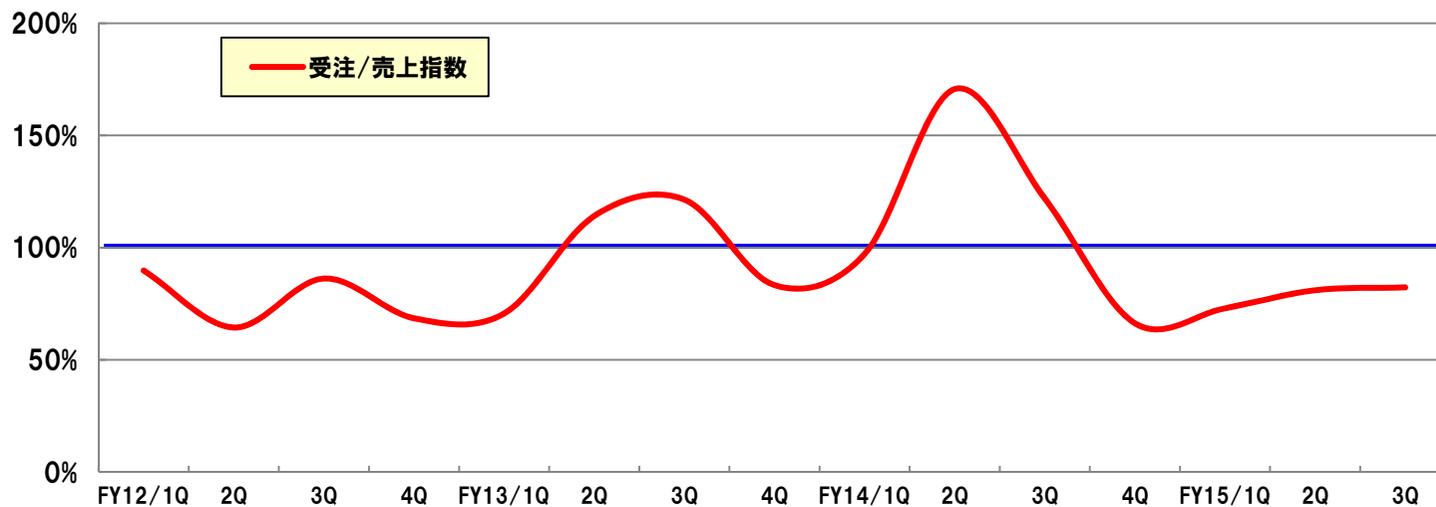
コマツ単独  
(マイニング)

HD785, HD1500  
PC2000, PC3000,  
PC4000, WA800 up  
D375A up  
GD825A up

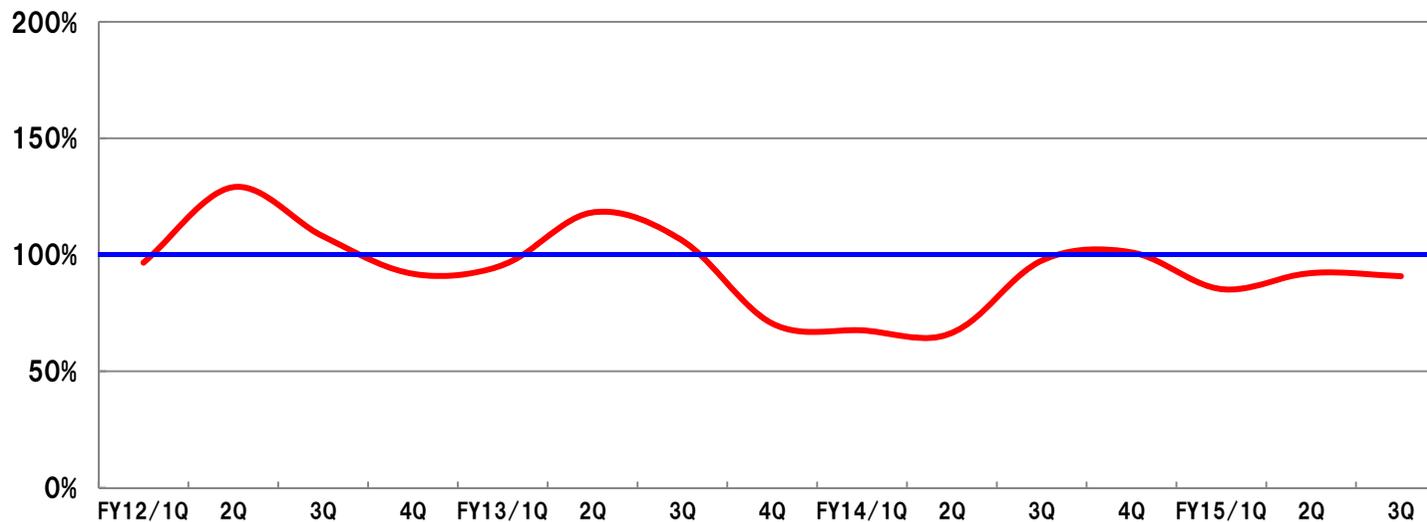


コマツ産機

6ヶ月平均受注額 / 6ヶ月平均出荷額



コマツNTC  
(除くワイヤーソー)



## 【売上・損益】

- ・ 連結売上高は前年同期比▲3.2%減収の4,780億円。
- ・ 営業利益は前年同期比▲1.1%減益の556億円。売上高営業利益率は同+0.2ポイント増の11.6%。
- ・ 純利益は前年同期比+0.3%増益の386億円。

金額単位:億円	2014年10-12月 ¥114.1/USD ¥142.8/EUR ¥18.5/RMB	2015年10-12月 ¥121.2/USD ¥132.3/EUR ¥19.0/RMB	前年同期比	
			増減	増減率
連結売上高	4,940	4,780	▲160	▲3.2%
セグメント利益	585	485	▲99	▲17.0%
その他の営業収益(▲費用)	▲22	70	+93	-
営業利益	562	556	▲5	▲1.1%
売上高営業利益率	11.4%	11.6%	+0.2ポイント	-
その他の収益(▲費用)	4	▲3	▲7	-
税引前純利益	566	552	▲13	▲2.4%
純利益*	385	386	+1	+0.3%

\*米国財務会計基準審議会会計基準編纂書810の適用による「当社株主に帰属する四半期純利益」

2015年度第3四半期(10月－12月)の各セグメント売上高と利益

- ・建設機械・車両部門の売上高は、▲3.7%減収の4,255億円。セグメント利益は▲19.1%減益の445億円。セグメント利益率も▲2.0ポイント悪化し、10.5%。
- ・産業機械他部門の売上高は、+0.3%増収の536億円。セグメント利益は+15.8%増益の44億円。

□ % : 利益率 ( ) : 外部顧客向け売上高

金額単位:億円	2014年10-12月	2015年10-12月	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	4,940	4,780	▲160	▲3.2%
建設機械・車両 産業機械他	(4,415) 4,420 (525) 535	(4,247) 4,255 (532) 536	(▲167) ▲164 (+6) +1	(▲3.8%) ▲3.7% (+1.3%) +0.3%
消去	▲14	▲11	+2	-
セグメント利益	□11.8% 585	□10.2% 485	▲99	▲17.0%
建設機械・車両 産業機械他	□12.5% 550 □7.2% 38	□10.5% 445 □8.3% 44	▲104 +6	▲19.1% +15.8%
消去または全社	▲4	▲4	▲0	-

### <建設機械・車両> 2015年度第3四半期(10月-12月)の地域別売上高(外部顧客向け) 33

- ・外部顧客向け売上高は前年同期比▲3.8%減収の4,247億円。
- ・北米が伸長したものの中国・中南米等の減少が大きく、伝統市場の比率が53%に増加。

